

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

# 答えとてびき

東京書籍版 社会3年



● **もんだい** 問題がとけたら…

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきをよんでかくにんしましょう。

● **おうちのたへ** は学習のねらいやポイントを掲載しています。お子様への説明にご活用ください。

## 1 わたしのまち みんなのまち

### ぴったり 1 じゃんび 2 ページ

- 1 ①かんさつ ②絵地図 ③目じるし ④文しょう ⑤神社 ⑥さくら ⑦東西 ⑧北 ⑨上

### ぴったり 2 練習 3 ページ

てびき

- 1 (1) ①北 ②東  
③南 ④西  
(2) ①㊦ ②㊧  
③㊨ ④㊩  
⑤㊪

- 1 (1) 方位じしんは色がついている方が北をさします。  
(2) ①は自転車が通るための道、②は地下鉄の駅とゆうびん局、③は長いかいだんと神社、④は学校のすぐそばと公園、⑤は地下鉄の駅と商店がいをヒントにして、絵地図をよく見ましょう。

### ぴったり 1 じゃんび 4 ページ

- 1 ①方位 ②地図記号 ③きより ④寺 ⑤学校 ⑥神社 ⑦ゆうびん局 ⑧消防しょ  
2 ⑨公共しせつ ⑩りよう

### ぴったり 2 練習 5 ページ

てびき

- 1 (1) 北  
(2) ①交番 ②病院  
③橋  
(3) ①㊦ ②㊩  
③㊨ ④㊪  
(4) きより

- 1 (1) 地図はふつう北を上になっています。また、方位の記号にも注意しましょう。矢じるしの向く方が北です。  
(2) ①けいさつかんが持っているけいぼうを2本組み合わせた形です。③橋を上から見た形をもとにしています。  
(3) ①地下鉄の駅の近く、②住たく地、③神社の地図記号、④病院の地図記号をヒントにしましょう。

### ぴったり 3 たしかめのテスト 6~7 ページ

てびき

- 1 (1) 方位じしん  
(2) ①西 ②北 ③南  
④南 ⑤北  
(3) ①○ ②○  
③× ④○

- 1 (1) 学校のまわりの様子<sup>ようす</sup>をかんさつするときは、方位を正しく知っておくひつようがあります。方位じしんは、方位を正しく知るための道具です。  
(2) ①~⑤の場所は、絵地図ではマンションより上(北)にあるのか、下(南)にあるのか、右の方(東)か、左の方(西)かを見て方位を決めます。  
(3) ③東ではなく西に進むと地下鉄唐人町駅があります。

- 2 (1) ①文  
②㊦  
③ㄥ  
④ㄱ  
⑤ㄷ  
⑥X
- (2) ①ゆうびん局  
②病院  
③学校
- (3) 500m

- 2 (1) ①「文」の文字の形がもとになっています。②昔ゆうびんをあつかっていた「ていしんしょう」の「て」をかたかなにして、丸でかこんで記号にしています。③昔使われていた「さすまた」という消防の道具の形です。④神社に立っているとりいの形です。⑤寺で見かける卍(まんじ)というしるしがもとになっています。
- (2) 地図の右下にかかっているものさし(しゅくしゃく)の長さを見くらべて考えましょう。この地図のものさしは、ひとめもりが100mを表していて、病院から神社まではおよそ5めもりです。



**おうちのかたへ** 東西南北の方位については、東と西がおぼえにくいので注意してください。また、地図を見る際、「東西南北」を「上下左右」で言わないようご配慮ください(「学校は駅の上にあるね」→「学校は駅の北にあるね」)。(上の「てびき」ではわかりやすくするために「上下左右」で説明しています。)

ひたひた 1 **じゃんび** 8 ページ

- 1 ①西 ②数字 ③八方位 ④学習問題
- 2 ⑤高く ⑥海 ⑦多い ⑧北

ひたひた 2 **練習** 9 ページ

てびき

- 1 (1) ①北東 ②南東  
③南西 ④北西
- (2) ①学習問題 ②見学  
③しつもん ④しりょう  
⑤ノート
- 2 ①北  
②南  
③北  
④北

- 1 (1) 北、南、東、西の4つの方位を四方位といいます。北と東の間を北東、北と西の間を北西、南と東の間を南東、南と西の間を南西といい、四方位と合わせた8つの方位を八方位といいます。
- 2 地図は北を上にして作られています。①地図の上の青い色は島があるので海とわかります。海があるのは地図の上の方なので、北がわになります。②地図の色分けから、市の南がわに行くほど土地が高くなっていることがわかります。③「家や店の多いところ」の色分けは市の北がわに広がっています。

ひたひた 1 **じゃんび** 10 ページ

- 1 ①店 ②森林 ③公園 ④空港 ⑤田
- 2 ⑥外国 ⑦高速道路 ⑧新かん線

ひたひた 2 **練習** 11 ページ

てびき

- 1 (1) ①㉠  
②㉡  
③㉢  
④㉣
- (2) ①○  
②○  
③×

- 1 (1) ①㉠㉡は色分けを見ると「田や畑が多いところ」で、川が流れています。②海に面している㉢, ㉣, ㉤のうち、海岸線がまっすぐなのは㉣です。色分けを見ると「港や空港、そう庫」になっています。③「森林、森」の色分けが広がるのは㉢です。④海に面している㉢, ㉣, ㉤のうち、㉢はほとんどが「公園」の色分けになっています。
- (2) ③ 博多駅からぼくじょうのあるところまでは地下鉄を表す線はかかれています。

- 1 (1) ①北東 ②南東  
③南西 ④北西  
(2) 北西
- 2 ①土地  
②交通  
③公共しせつ  
④インタビュー  
⑤カード
- 3 (1) ①○ ②○  
③× ④×  
⑤○ ⑥×  
⑦○ ⑧×  
(2) 公園  
(3) (例) 交通がべんりで、たくさんの人が集まってくるから。

- 1 (1) 方位を表す記号では、矢じるしの向いている方が北になります。①は北と東の間、②は東と南の間、③は南と西の間、④は西と北の間です。
- 2 ①「使われ方」にかかわるものには「公共しせつ」と「土地」の2つがありますが、「高さや広がり」にもかかわるのは「土地」です。④インタビューとは、調べたり記事を書いたりするために、人に会って話を聞くことです。
- 3 (1) ②土地の高さの地図と土地の使われ方の地図の両方を見て考えます。③家や店が多いのは土地がひくいところです。④新かん線は北東から南へたてにぬけていきます。⑥空港がある場所は家や店が多いところの近くで、まわりに田や畑はありません。  
(2) 土地の使われ方の地図を見ると、★のまわりは公園の色分けになっています。  
(3) 駅のまわりは交通がべんりだということから考えましょう。交通がべんりだと、人が集まりやすいです。



ぶらちのかたへ

この單元では、対象となる地域が学校のまわりから市へと広がります。地図の読み取りも、方位と地図記号だけでなく、凡例を見ながら土地の高低や使われ方、交通機関や公共施設の分布など、いくつかの要素を関連させて読み取ることを学習します。

- 1 ①けいさつしょ ②市役所 ③はくぶつ館 ④図書館 ⑤消防しょ ⑥市民  
2 ⑦博多区 ⑧中央区

- 1 (1) ア・ウ(順不同)  
(2) 学校・ゆうびん局・病院  
(順不同)
- 2 (1) 承天寺  
(2) 寺

- 1 (1) 公共しせつが多いのは、地下鉄やほかの鉄道、道路に近いところです。土地の使われ方がわかる地図で見ると、「家や店が多いところ」、「店がとくに多く、高いたて物が目立つところ」の色分けになっています。
- 2 (2) 神社の地図記号は2つ、寺の地図記号は4つあるので、寺のほうが多いです。

- 1 ①学習 ②公共しせつ ③自然 ④交通きかん ⑤たて物  
2 ⑥白地図  
3 ⑦図書館 ⑧工場 ⑨田 ⑩畑

- 1 ①住たく  
②緑  
③田畑
- 2 ①—ウ  
②—ア  
③—イ

- 1 ①「じまん1」, 「じまん5」のせつめいから, 田畑や緑が多いところではなく, 人が多く住む「住たくの多いところ」とわかります。②「じまん3」のせつめいから, 「緑の多いところ」とわかります。③「じまん2」のせつめいから, 「田畑が多いところ」とわかります。
- 2 ①「乗り物で」「市外に住む友だち」とあるので, ウの「にぎやかな様子」「地下鉄」があてはまります。②外国人をあんないするので, アがあてはまります。

- 1 (1) ①○ ②○  
③× ④×  
⑤血 ⑥皿
- (2) (例) 地下鉄や道路の近くで交通がべんりなところ。
- (3) ウ
- 2 (1) ①○ ②×  
③× ④○  
⑤○ ⑥×
- (2) ア  
(3) ア
- 3 ①ア ②ウ  
③エ ④イ

- 1 (1) ①・②二重丸が市役所, 一重丸が区役所です。⑤たて物の形がもとになっています。⑥本を開いた形です。
- (2) 地図を見ると, 公共しせつの地図記号は地下鉄の線や道路の線の近くに集まっていることがわかります。
- 2 (1) ②櫛田神社があるのは博多駅の西がわです。東がわには古くからのこるたて物はありません。③赤れんが文化館は, 博多区と中央区のさかいになっている川の西がわにあります。④・⑤区のさかいを表している線に注意しましょう。
- (3) 博多駅から住吉神社までは, この地図のものさしの長さとはほぼ同じです。
- 3 ①は西がわで田畑が多いアとなります。③は緑が多いのでエとなります。④は海の近くのイとなります。



おうちのカタヘ

みんなが利用する場所なのに, なぜデパートや映画館, スーパーマーケットやコンビニは公共施設ではないのかということが, なかなか理解できないと思われます。会社や個人が経営していること, 税金が使われていないことが公共施設との違いとなります。

## 2 はたらく人とわたしたちのくらし

- 1 ①仕事 ②農家 ③工場 ④お店
- 2 ⑤いちご ⑥あまなつ ⑦様子 ⑧道具 ⑨くふう

- 1 (1) ①○ ②×  
③○ ④×
- (2) トマト
- 2 ①イ ②ア  
③ア ④イ

- 1 (1) ②だいこんがつくられているのは西がわです。④志賀島ではいちごやあまなつがつくられています。
- (2) 2ばん目に長いぼうはトマトです。
- 2 ①, ④理由やくふうについては, 聞いて調べるとよいです。②, ③様子や使っている道具は, 見て調べることができます。

- 1 ①なえ ②花 ③しゅうかく ④かんさつ ⑤しつもん ⑥メモ ⑦お礼  
 2 ⑧地面 ⑨れいぞうこ

- 1 (1) ①—ウ  
 ②—イ  
 ③—ア  
 (2) ウ  
 (3) ア  
 2 ①〇 ②×  
 ③× ④〇  
 ⑤×

- 1 (2) 図を見ると、「次の年にうえるなえを育てる」の線は11月から始まって、次の年の7月まで続いているため、期間は11月から次の年の7月までの9か月です。  
 2 ②見ただけではわからないことは、しつもんして、教えてもらいましょう。③見たり聞いたりするだけでなく、じっさいにふれてたしかめることも大切です。農家の人に聞いて、ふれてもよければ、自分の手でふれてみましょう。⑤見学が終わったらいろいろ教えてくれた農家の人に、お礼を言いましょう。

- 1 ①たな ②ビニールハウス ③葉かぎ ④みつばち  
 2 ⑤パック ⑥中央卸売市場 3 ⑦文 ⑧題名

- 1 ①—イ  
 ②—エ  
 ③—ウ  
 ④—ア  
 2 ①〇 ②× ③×  
 ④〇 ⑤〇  
 3 ①→エ→ア→ウ

- 1 ③みつばちはビニールハウスの中をとび回り、花のみつや花ふんを集めます。そして花ふんがめしべにつき、いちごの実ができます。④いちごはもともとは、あたたかい春に実をつけますが、あたたかいビニールハウスの中で育て、冬でも実をしゅうかくできるようにしています。  
 2 ② 毎朝早くにしゅうかくします。  
 ③ いちごは、いたみやすいので、手作業でひとつひとつついでいにパックにつめます。

- 1 (1) ア, エ (順不同)  
 (2) 生産額の多いもの—いちご  
 生産額—(およそ)5 (億円)  
 (3) (およそ)5 (倍)  
 2 ①オ  
 ②イ  
 ③ウ  
 ④ア  
 ⑤エ  
 ⑥カ  
 3 ア

- 1 (1) このグラフは福岡市で生産されている主なやさいやくだものの生産額をあらわしています。ア, エグラフからはいろいろな作物の生産額やそのちがいがわかります。また、グラフの下がわには、「いちご」「トマト」など、やさいやくだものの種類も書かれています。  
 (3) 「いちご」はおよそ5億円、「ほうれんそう」はおよそ1億円なので、生産額はおよそ5倍です。  
 2 見学に行くときは、何を調べるのかみんなで話し合っで見学カードにまとめます。様子を見るだけでなく、しつもんなどもしてみましょ。終わったら、見学してわかったことをせんでんシールなどにまとめてみましょ。  
 3 ビニールハウスを使うと春にしかしゅうかくできなかつたいちごを、冬でもしゅうかくできるようになります。

- 4 (1) ㊦  
 (2) ㊧  
 (3) (例) みつばちがとび回ると、花に花ふんがついて、実がなるから。  
 (4) ㊧  
 (5) 春  
 (6) 冬
- 5 (1) ア (2) ㊧

- 4 (3) 「みつばちが花ふんをつけるので実がなる」ということが書かれていればよいです。  
 (4) 電しょうせつびで、電気の明かりで夜も明るくしているため、いちごは夜を昼間とかんちがいします。電しょうとだんぼうで、あたたかく昼間の長い春が来たといちごにかんちがいさせ、冬でも実をつけさせます。
- 5 (2) 市の中央卸売市場に集められ、そこでねだんがつけられて、スーパーマーケットなどに運ばれます。



この单元では、棒グラフの読み取りを学びます。ここでは野菜や果物の生産額の読み取りと、それぞれの生産額の順位の比較ができるようになることが目標です。算数の「ぼうグラフの読み取り方」「数の位と表し方」と関連しています。また、地図では農作物の分布の見方も学びます。

ぴったり 1 **じゃんび** 28ページ **せんたく**

- 1 ①東区 ②博多港 ③早良区 ④中央区 ⑤食べ物 ⑥きかい  
 2 ⑦じゅんじょ ⑧服そう ⑨数 ⑩くふう

ぴったり 2 **練習** 29ページ **せんたく**

てびき

- 1 (1) ①× ②○  
 ③× ④○  
 (2) 食べ物や飲み物 (をつくる工場)  
 (3) (およそ) 10
- 2 ①ア ②イ  
 ③ア ④イ
- 1 (1) ①, ②地図の大きな円は10を、小さな円は1を表しています。この円を数えると、東区は48あり、ほかの区とくらべても工場の数がいちばん多いのは東区です。  
 ④地図の「工場が集まっているところ」の色を見ると、博多港のあるところだとわかります。  
 (2) ぼうの長さをくらべます。いちばん長いのは「食べ物や飲み物をつくる工場」です。  
 (3) ぼうの長さと同目の数字を見くらべます。0と20のまんなかぐらいまでぼうがのびているので、およそ10となります。

ぴったり 1 **じゃんび** 30ページ **せんたく**

- 1 ①生地 ②あん ③きかい ④目 ⑤手作業 ⑥たんとう ⑦ライン  
 2 ⑧材料 ⑨国内 ⑩外国

ぴったり 2 **練習** 31ページ **せんたく**

てびき

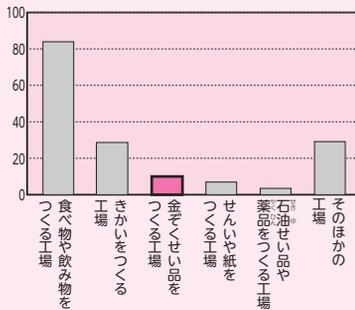
- 1 (1) (㊦⇒㊧⇒ア⇒㊨⇒イ⇒カ)  
 (2) きかいでおこなう作業  
 ア, ㊦ (順不同)  
 人がおこなう作業  
 ㊧, ㊨ (順不同)
- 2 ①○ ②×  
 ③× ④×
- 1 (1) ㊦お菓子の生地と、その生地でつつむあんをつくり、  
 ㊧あんを生地でつつんでアオーブンで焼き上げ、㊨やき上がりをかくにんしてイふくろにつめ、㊦それをはこにつめてでき上がりです。
- 2 ②もともとは、洋がしの原料でわがしをつくることを考えて、このおかしが生まれました。③工場の人のお話には「バターや生クリームは国内のものを使います」とあります。  
 ④工場の人のお話には「いんげん豆やこむぎこなど、外国から取りよせているものもあります」とあります。

- 1 ①温度 ②大きさ ③そうこ ④白い ⑤風 ⑥手あらい  
 2 ⑦福岡 ⑧たくはいびん ⑨文 ⑩題名

- 1 ①イ  
 ②イ  
 ③ア  
 ④イ  
 ⑤ア  
 2 (1) 福岡市  
 (2) 31  
 (3) ウ  
 (4) イ  
 3 ①→ア→ウ

- 1 ①, ②, ④よごれていたらすぐわかる白い作業服を着ます。また、ていねいに手をあらったり、細かなほこりをはらったりとえいせい面にくふうをしています。③, ⑤温度のかんりやできたおかしを一週間ねかせることはおかしをおいしくするためのくふうです。  
 2 (1), (2) 福岡市には大きな円が3つと小さな円が1つあるので店の数は31で、いちばん多い地いきとなります。  
 (3) おかしはお店までトラックで、インターネットなどで注文した人のところへは、たくはいびんで送られます。  
 (4) ウできたおかしはそうこで一週間ねかせるため、できたてをお店にはこぶことはありません。

- 1 (1) 東区  
 (2) 城南区  
 (3) 37  
 (4) イ  
 (5) 食べ物や飲み物(をつくる工場)  
 (6)



[2016年 福岡市資料]

- 2 ①, ②, ③(順不同)  
 3 (1) ア・イ→オ→イ→ウ(⇒カ)  
 (ア・イは順不同, 完答)  
 (2) 原料  
 (3) (例) よごれを目立たせ, すぐわかるようにするため。  
 4 ①× ②○ ③○  
 ④× ⑤○

- 1 (1) 東区には大きな円が4つと小さな円が8つで48の工場があり、いちばん工場が多い区になります。  
 (2) いちばん工場が少ない区は、小さい円が1つだけの城南区です。  
 (3) 大きな円が3つと小さな円が7つあるので37です。  
 (4) 「工場が集まっているところ」の色がついている場所を見ると、海ぞいの港のあるところになっています。  
 (6) 目もりは20ずつ入っているので0と20のめもりのまん中に合わせたぼうをかきます。  
 2 ア, ウ, カ一日にどれぐらいのおかしを、毎日いつごろからつくっているのか、できたおかしをいつお店にはこぶのかということは、見ただけではわかりません。  
 3 (3) 「よごれが目立つ」ということが書かれていればよいです。白い色はよごれが目立つので、よごれているとすぐわかります。  
 4 ①福岡市には大きな円が3つと小さな円が1つあるので、店の数は31です。④地図の絵から、ほかの市からも車や電車であつてくる人がいることがわかります。

おうちのかたへ

この単元では、棒グラフの読み取りを学びます。ここでは工場数の読み取りと、工場の種類ごとの順位の比較ができるようになることが目標です。算数の「ぼうグラフの読み取り方」と関連しています。また、地図では工場やお店の分布の見方も学びます。

ひたたり ① **じゃんび** 36ページ

- 1 ①白地図 ②スーパーマーケット ③コンビニエンスストア ④商店がい  
 2 ⑤もくてき ⑥まとめ方 ⑦お礼 ⑧ちゅう車場

ひたたり ② **練習** 37ページ

てびき

- 1 (1) ①○ ②×  
       ③× ④×  
 (2) 7(人)  
 2 ①—ウ  
       ②—ア  
       ③—エ  
       ④—イ

1 (1)①, ②●がいちばん多いのは, 学校の南がわのはなれたところにある大きなスーパーマーケットで, ●の数は10です。③地図の中にかかっているスーパーマーケットの数は3, コンビニエンスストアの数も3で, 同じです。④コンビニエンスストアに行く人の合計数は2 + 1 + 1で4人, スーパーマーケットに行く人の合計数は10 + 3 + 4 + 5で22人です。

ひたたり ① **じゃんび** 38ページ

- 1 ①品物 ②お客さん ③インタビュー  
 2 ④あいさつ ⑤お礼 ⑥カート ⑦おそうざい ⑧コンピューター

ひたたり ② **練習** 39ページ

てびき

- 1 ①ウ  
       ②ア  
       ③イ  
       ④エ  
 2 ①エ  
       ②ウ  
       ③ア

1 ① スーパーマーケットはいろいろな品物を売っています。買いたい品物を見つけやすく, また, よい品物が売られていれば, お客さんもたくさん買いに来ます。  
 ④ インタビューとは, 調べたり記事にしきじたりするために, 人に会って話を聞くことです。  
 2 ①①は, カートにのせて品物を売り場に出しているところです。品物を出すだけでなく, 売れのこって時間がたった品物をはずすこともしています。②②は魚売り場のうしろにある部屋やで魚をさばっている様子です。それぞれの売り場のうしろにある部屋では, その売り場にならべる品物のじゃんびをしています。

ひたたり ① **じゃんび** 40ページ

- 1 ①インタビュー ②かんばん ③コンシェルジュ  
 2 ④注文 ⑤ちらし ⑥きれい ⑦品しつ ⑧りょう ⑨品切れ ⑩おそうざい

ひたたり ② **練習** 41ページ

てびき

- 1 ①× ②○  
       ③× ④×  
       ⑤× ⑥○

1 ①・④売り場の上にある大きなかんばんには, お客さんがさがしやすいように, その売り場にならべられている品物のしゅるいが書かれています。③大きいやさいなどは, 半分や4分の1の大きさに切って売られているものもあります。⑤おそうざい売り場があります。

- 2 ①—ウ  
②—ア  
③—エ  
④—イ

- 2 ③売り場にある品物の多くはパックづめになっています。入っている品物のりょうは、お客さんのひつように合わせて、多いものから少ないものまであります。④お客さんが多くなる時間なども考えながら、何回にも分けておそうざいをつくっています。

ひたひた 3 たしかめのテスト

42~43ページ

てびき

- 1 (1) ①イ  
②ウ  
③ア  
(2) 12 (人)  
(3) スーパーマーケット
- 2 ①× ②× ③○  
④○ ⑤○ ⑥○
- 3 ①エ ②イ ③ア ④ウ
- 4 (1) ア  
(2) ウ  
(3) (例) 上のほうの大きなかんばんに、品物がある場所が書いてあるから。  
(4) 品しつ  
(5) イ

- 1 (1) ①コンビニエンスストアは、朝早くから夜おそくまで開いているので、いつでも買い物ができます。②商店がいは、肉屋、魚屋、八百屋など、生活にひつような品物を売っている店が集まっているので、いくつかの店を回って買い物をするのにべんりです。  
(2) 図の●は集計した人数を表しています。駅近くの商店がいのらんには●が12あります。  
(3) 「はなれたところにある大きなスーパーマーケット」と「近くのスーパーマーケット①、②、③」の●の合計は38で、「コンビニエンスストア①、②、③」の●の合計は6なのでスーパーマーケットのほうが多いです。
- 2 ①売り場がこんでいて、いそがしいときは、じゃまになるので、すいているときに見学に行きます。②品物がかってにさわってはいけません。
- 4 (3) 絵のかんばんには品物のしゅるいが大きく書かれています。「かんばんで品物の売り場がわかる」ということが書けていればよいです。



**おうちのかたへ** スーパーマーケットに買い物に行くときに、お子さんといっしょに行って、スーパーマーケットの様子を実際に見せると理解がしやすくなります。買う品物を探したり、見比べたりする経験を通して、この単元の学習が深まります。

ひたひた 1 じゅんぴ

44ページ

- 1 ①場所 ②シール ③名前 ④外国  
2 ⑤ちゅう車場 ⑥ちらし ⑦安心 ⑧せんでん ⑨ホームページ ⑩しゅん

ひたひた 2 練習

45ページ

てびき

- 1 (1) ①北海道  
②群馬県  
③アメリカ  
④北海道  
⑤ニュージーランド  
(2) ア
- 2 ウ  
3 イ

- 1 (1) ② <sup>ながの</sup>長野県から運ばれているやさいの絵はレタスです。キャベツとにているので注意しましょう。  
(2) だんボールのはこには、やさいの名前とその産地<sup>さんち</sup>が書かれています。
- 2 ウ 店員と話をしながら買い物ができたりするのは、顔見知りの店員のいる近所のお店などです。
- 3 ① きせつ感のある売り場は品物のならべかたのくふうであって、せんでんではありません。

ひたたり 1 **じゃんび** 46ページ

- 1 ①地いきこうけん ②リサイクル ③バッグ ④車いす ⑤ちゅう車場 ⑥事実  
 2 ⑦せんもん ⑧商店がい ⑨理由

ひたたり 2 **練習** 47ページ

てびき

- 1 (1) ①×  
 ②○  
 ③×  
 ④×  
 ⑤○  
 (2) ア

- 2 ①イ ②エ  
 ③ア ④ウ

- 1 (1) ①レジぶくろは、品物を入れて持ち帰ったあとは、ごみになります。ごみを少なくするためには、できるだけレジぶくろを使わないようにすることが大切です。  
 ②、③リサイクルコーナーでは、牛にゆうパックやペットボトル、食品トレーを回収して、リサイクルに協力しています。④足の不自由な人でも買い物ができるように、車いすをかし出しています。  
 2 ③ たとえば、カメラや電気製品などをせんもんに売っている大きな店では品物についてくわしい店員さんがいて、いろいろせつめいをしてくれます。

ひたたり 3 **たしかめのテスト** 48~49ページ

てびき

- 1 (1) ①ウ ②イ  
 ③ア ④エ  
 (2) ①北海道 ②群馬県  
 2 ①—イ  
 ②—エ  
 ③—ア  
 ④—ウ  
 3 (1) ①ア ②エ  
 (2) リサイクル  
 (3) (例) レジぶくろのごみをへらすもくてき。  
 4 ①オ ②ウ  
 ③ア ④エ  
 ⑤イ

- 1 (1) ③シールには、品物のねだん、りょう(重さや数)、賞味期限などといっしょに、産地も書かれています。  
 2 ア車で来る人のためのくふうです。イはなれた場所からでも見えるように、つけた大きなかんばんに品物のしゅるいが書いてあります。ウつくっている人がわかれば、安心して買うことができます。エちらしを見て買いにくるお客さんもたくさんいます。  
 3 (1) ②車いすのマークがあるので、車いすをりようするような、しょうがいのある人せんようのちゅう車場です。  
 (3) 食品トレーをリサイクルしたり自分のバッグを使って買い物をすれば、ごみをへらすことになります。  
 4 ①はおそい時間でも、電気代のしはらいや買い物ができるウです。④はいろいろなお店が集まって便利なエです。⑤は地下鉄の駅を出てすぐのところなどにあり、外の天気を気にせずに買い物ができるイです。



**おうちのかたへ** リサイクルボックスは、コンビニエンスストアの前にもあります。また、レジぶくろが有料になっていること、自分の買い物バッグを持って買い物に来ているお客さんが多いことなども、お子さんといっしょに買い物に行くときに教えてあげてください。

3 **まも** 暮らしを守る

ひたたり 1 **じゃんび** 50ページ

- 1 ①事故 ②消防士 ③けいさつかん  
 2 ④90 ⑤へって ⑥こんろ ⑦119 ⑧地いき ⑨図書館

1 ア, ウ, オ (順不同)

2 (1) ①× ②×  
③○ ④×  
⑤×

(2) ①—ウ ②—ア  
③—イ

1 ウのガス会社はガスばくはつをふせぐために火事の現場近くのガスをとめます。オの水道局は消火せんから消火用の水がいきおいよく出るように、近くの水道の水圧を高めま。

2 (1) ①グラフのぼうの長さの目もりはおよそ90件です。②ぼうの長さはだんだん短くなっているため、火事はへってきています。④火事の原因でいちばん多いのはこんろです。⑤ぼうの長さの目もりは10件以下です。

1 ①点検 ②マスク ③救助 ④当番

2 ⑤119番 ⑥救急 ⑦消防しょ ⑧病院 ⑨けいさつしょ

1 (1) ①エ ②ア  
③ウ ④イ

(2) ①○ ②○ ③×

2 ①エ ②ウ  
③ア ④オ  
⑤イ

1 (2) ①朝から次の日の朝まで、24時間はたらいっているため夜中でもすぐかけつけられます。③消防士は、半日(朝から夕方、夕方から朝)ずつ交代ではたらくのではなく、24時間ずつ交代ではたらいっています。

2 ④電力会社やガス会社、水道局は、火事現場近くの電気やガスをとめたり、水道の水圧を高めたりして協力します。⑤けが人を病院に運ぶのは救急車です。

1 (1) (およそ) 90 (件)  
(2) イ  
(3) こんろ  
(4) 78 (件)

2 (1) ①× ②×  
③○ ④×  
⑤○  
(2) ウ

3 (1) ①○ ②× ③○ ④×  
(2) (例) いつ火事が起きてもすぐ出動できるようにしているから。

4 (1) ウ  
(2) ウ  
(3) ①イ ②ア ③ウ

1 (2) ぼうの長さはだんだん短くなっているため、火事の数もだんだんへっていることがわかります。

(3) ぼうがいちばん長いのは右はしの「そのほか」ですが、これは少ない原因をいくつも集めていっしょにしたものなので、はずします。左から多いじゅんになっているため、左はしの「こんろ」がいちばん多い原因です。

2 (1) ①訓練は当番の日にはしていません。②防火服はじょうぶにつくられているため、マスクとあわせて10kgの重さがあります。防火服、マスク、ボンベなどのそうびをすると、とても重くなりますが、消防士の安全をだいにしています。④通信指令室から火事の場所や大きさについてのれんらくがあるため、出動する消防自動車の数やしゅるいはそのときどきでかわります。

3 (1) ②、③当番の日には24時間はたらくため、当番の日が2日つづくことはありません。当番の次の日は非番になります。非番の日には家に帰りますが、れんらくがあれば消防しょにかけつけます。④火事はいつ起きるかかわからないため、消防士は、交代ではたらいっています。



### おうちのかたへ

この単元では、火事の件数の変化を例にして、棒グラフに示された数の変化の読み取りを学びます。また、消防士の勤務時間から時間の表し方についても学びます。算数の「時間の表し方」や「大きな数の表し方」と関連しています。

## ひたひた 1 じゃんび 56ページ

- 1 ①消火せん ②防火水そう ③火災ほうち ④火災けいほうき ⑤ひなん場所  
 2 ⑥地いき ⑦市民防災訓練 ⑧仕事

## ひたひた 2 練習 57ページ

てびき

- 1 ①—イ  
 ②—ア  
 ③—ウ

- 2 ①× ②×  
 ③○ ④○  
 ⑤×

- 1 ①消火せんのふたです。ふたを開けて、水道管<sup>かん</sup>につながるせんにホースをつなぎ、消火用の水をとります。②防火水そうがある場所をしめしています。地下にある水そうに消火用の水がためられています。③火災けいほうきです。火事の熱<sup>ねつ</sup>やけむり<sup>かんち</sup>を感知して音で知らせます。  
 2 ①消防団は地いきの人たちがつくる組織<sup>かんち</sup>で、消防士は参加していません。②台風や地震などの大きなさいがいのときも、地いきのために活動します。⑤日を決めて集まって、訓練をしています。

## ひたひた 3 たしかめのテスト 58～59ページ

てびき

- 1 (1) ア  
 (2) (例) 道路にそって、たくさんあるから。  
 (3) ウ  
 (4) ウ  
 2 ①ア ②イ  
 ③イ  
 3 (1) ①消火の訓練  
 ②防火のよびかけ  
 ③器具の点検  
 (2) (例) ふだんはべつの仕事をしていて、さいがいが起きたときは、消防しょの人たちと協力して活動する地いきの人。  
 (3) イ, ウ (順不同)  
 4 イ→ア→ウ (完答)

- 1 (1), (2) 地下に水道管<sup>かん</sup>が通っている道路<sup>どうろ</sup>にそってたくさん消火せんをもうけて、どこで火事が起きても、すぐ近くから消火用の水がとれるようにしています。地図の中で道路にそってたくさんあるものをさがすと、アであることがわかります。  
 (3), (4) ひなん場所は、地いきの人がよく知っていて、たくさんの人がひなんできる広い場所になります。地図で、そのような場所をさがすと、「文」の地図記号から、学校にかかっているウがひなん場所であると考えられます。  
 2 ①は防火水そうです。②はひなん場所、③は火災けいほうきで、火事を知らせたり、安全な場所にひなんしたりするためのしせつです。  
 3 (1) ①は消火ホースを使った「消火の訓練」の様子です。②は「春の火災予防運動」と書かれたおうだんまくから、話の中にある「防火のよびかけ」の活動とわかります。③は「器具の点検」をしているところです。  
 (3) ア消防団の団員は、火事だけでなく、いろいろなさいがいの時にも活動します。イお祭りは消防団の活動ではありません。

**おうちのかたへ**

消火栓は、道路のあちこちで見かけます。お子さんといっしょに買い物や散歩に出かけたときに、どこにあるのか、いくつあるのか、ゲーム感覚で歩きながら探してみるとよいでしょう。どこで火事が起きても、近くに消火用の水があることが実感できます。

**ひたひた 1 じゃんび 60ページ**

- 1** ①タイトル ②たて ③よこ ④へって ⑤ふえて ⑥事故 ⑦事件  
**2** ⑧パトロール ⑨ルール

**ひたひた 2 練習 61ページ****てびき**

- 1** ①○ ②×  
 ③× ④○  
 ⑤○ ⑥×  
 ⑦×

- 2** ①—①  
 ②—②  
 ③—③

**1** ②2016年の事故の数は2013年よりも少ないです。③事故の数がもっとも少ないのは、2014年です。⑥事故の数は2014年に大きくへりましたが、2015年からはまたふえています。事件の数は2015年までだんだんへっており、2016年は2015年とほぼ同じ数となっています。⑦たてじくの目もりの数字を見ると、事故の数は600件よりも少なく、事件の数は1000件よりも多いので、事件の数のほうが多いことがわかります。

**ひたひた 1 じゃんび 62ページ**

- 1** ①110番 ②場所 ③通信指令室 ④交番 ⑤交通整理  
**2** ⑥町内会 ⑦ひなんじょ ⑧防犯カメラ ⑨パトロール ⑩安全マップ

**ひたひた 2 練習 63ページ****てびき**

- 1** (1) 110 (番)  
 (2) ①○ ②○  
 ③× ④×  
 ⑤× ⑥○

- 2** ①—①  
 ②—②  
 ③—③

**1** (2) ③通信指令室はけいさつ本部の中にあります。事故現場の近くのけいさつしょや交番にれんらくして出動を指令します。④消防しょへれんらくして救急車を出動してもらいます。病院へは消防しょかられんらくします。⑤ガス会社へれんらくするのは火事するときです。  
**2** ①地いきの人たちで防犯について話し合っているところです。②登下校の時間に立ち番をしているところです。③こども110番のステッカーをはっているお店です。

**ひたひた 1 じゃんび 64ページ**

- 1** ①ちゅう車 ②パトロール ③安全マップ ④ステッカー  
**2** ⑤天ぷら ⑥ライター ⑦ストーブ ⑧言葉 ⑨じゅんばん

**ひたひた 2 練習 65ページ****てびき**

- 1** ①①  
 ②②  
 ③③

**1** ①法やきまりを守らない人を取りしめるのは、①のけいさつかんの仕事です。②登下校の時間に立ち番をするのは②の地いきの人たちです。③毎日、見守り活動をしているのは③のPTAの人たちです。

- 2 ①○ ②×  
③× ④○  
⑤× ⑥○  
⑦○

- 2 ②ぬれていても、かわいてくるのできけんです。③1つのコンセントからいくつもの電気器具に大量の電気が流れるので火事になるおそれがあります。⑤もえやすいものがなくても、マッチやライターで遊ぶのはきけんです。

ひたひた 3 たしかめのテスト

66～67ページ

てびき

- 1 (1) 2013 (年)  
(2) (およそ) 400 (件)  
(3) 2013 (年), 2014 (年)  
(4) ア  
(5) (例) 事故の数はへつたりふえたりしているが、事件の数はへっている。

- 2 (1) ア (2) ウ (3) ウ

- 3 ①—ウ ②—ア  
③—イ

- 4 ①オ ②キ ③エ ④イ  
⑤ク ⑥ア ⑦ウ ⑧カ

- 1 (4) 2013年～2014年は、事件のほうが3倍以上多くなっています。また、2015年と2016年も事件のほうが2倍から3倍多くなっています。したがって、アの2倍が答えになります。

- (5) 事故の数は2013年から2014年まではへっていますが2015年、2016年はふえています。事件の数は、2015年と2016年のようにほぼ同じ年もありますが、2013年から2017年にかけて少しずつへっています。

- 2 (1) ①, ② 110番の電話を受けた通信指令室は、けが人がいるばあいには、消防しょにれんらくして、救急車の出動をたのみます。市役所や病院に直せつ電話をするひつようはありません。



この單元では、2つのグラフを見くらべて、目盛りの数のちがいや、数の変化のちがいの読み取りを学びます。事故と事件を例に、年度によってそれぞれの件数がどのように増減しているのか、2つのグラフの類似している点と異なっている点を読み取ります。

4 市のうつりかわり

ひたひた 1 じゃんび 68ページ

- 1 ①令和 ②元号 ③使われ方 ④田 ⑤家 ⑥工場

- 2 ⑦鉄道 ⑧山陽 ⑨高速道路

ひたひた 2 練習 69ページ

てびき

- 1 ①× ②○  
③× ④○  
⑤×

- 2 (1) 山陽新かん線  
(2) 西明石 (駅)  
(3) 国道2号  
(4) 第二神明道路

- 1 ①今の明石市の地図を見ると、田の地図記号があることがわかります。③少し高いところには昔から工場がありその数はふえていません。新しくできた西がわのうめ立て地には工場の地図記号が5つあります。⑤高いところの畑の地図記号はへっているの、すべてのこっているとはいえませんが。

- 2 (1) 下の地図にあって、上の地図にはない鉄道をさがします。

ひたひた 1 じゃんび 70ページ

- 1 ①田や畑 ②森林 ③工場 ④家や店 ⑤人工島 ⑥公園

- 2 ⑦2倍 ⑧お年より ⑨外国

- 1 ① ○ ② ×  
③ × ④ ○

- 2 (1) (およそ) 5 (万人)  
(2) (およそ) 6 (倍)  
(3) ㊦  
(4) ㊧

- 1 ②どちらの地図にも、大きな工場を表す色が見えます。  
③森林は、今の地図ではずっと少なくなっています。
- 2 (2) 1935年の人口はおよそ5万人、2015年の人口は30万人よりちょっと少ないので、およそ6倍です。  
(3) グラフのぼうの長さを見ると、1935（昭和10）年から1975（昭和50）年までがいちばんふえているので、㊦の昭和の間になります。  
(4) 65才以上の人の数は、平成になってからの1995年から2015年までに、およそ4万人ふえています。

- 1 ①× ②×  
③× ④○  
⑤○ ⑥×

- 2 ①山陽電鉄、②山陽本線（順不同）  
③国道2号  
④第二神明道路  
⑤山陽新かん線  
⑥人工島  
⑦工場

- 3 (1) ①3 ②1955  
③1975 ④平成  
⑤5  
(2) (例) 明石市が4つの町や村と  
いっしょになったから。

- 1 ①地図1の土地の高さの色をさんこうにして、ほかの3つの地図のかわっているところを見ます。地図1・2で土地が高く森林が多かったところも、地図4では家や店が多くなっています。②開発中になっていたところは、地図4では大きな工場や、家や店などになっています。③地図4でも田や畑を表す色がまだのこっています。⑥第二神明道路は土地の高いところを、山陽新かん線は土地の低いところを通っています。
- 2 ①・②・③については1の地図2を、④・⑤・⑥・⑦については1の地図4を見て考えましょう。
- 3 (2) 1935年から1955年の間に4つの町や村といっしょになったことで、市の土地が広くなり、そこに住んでいた人たちの人口も明石市にくわったので、人口が2倍以上にふえました。



おうちのかたへ

この单元では、同じ地域の時期が異なる複数の地図を見くらべて、田や畑、工場、住宅地といった土地の使われ方がどのように変わったか、鉄道や道路はどう変わったかなど、地域の様子の変化を読み取ることを学びます。また、元号を使った時期の区分も学びます。

- 1 ①市役所 ②小学校 ③税金 ④コミュニティ・センター ⑤図書館  
2 ⑥せんたく板 ⑦せんたくき ⑧かまど ⑨左 ⑩右

- 1 ①× ②○  
③○ ④×

- 2 ①—㊵  
②—ア  
③—㊧  
④—㊦

- 1 ①市役所は明石駅のすぐ南がわにあります。④小学校の地図記号の数は、左の地図では16ですが、右の地図では29にふえています。
- 2 ①はせんたく板、②はせんたくき、③はかまど、④はIH電気台です。

- 1 ①高速道路 ②田や畑 ③工場 ④住たく ⑤お年より ⑥電気  
 2 ⑦日本標準時子午線 ⑧阪神・淡路大震災

- 1 (1) ①イ ②ウ ③ア  
 (2) ①ウ ②ア ③イ  
 (3) ①ア ②ウ ③イ  
 2 ①イ  
 ②ア  
 ③イ  
 ④ア

- 1 (1) 電車と大きな道路(国道2号)ができ、高速道路と新かん線が通り、電車のスピードが速くなって大阪駅まで40分で行けるようになりました。  
 (2) たくさんあった田や畑がへって大きな団地へとかわっていき、住たくが市全体に広がりました。  
 (3) 人口が10万人、25万人とふえ、お年よりや外国の人がふえていきました。  
 2 ①のアジア太平洋はくらん会が開かれたのは福岡市です。③のうめ立てにより、福岡市には『シーサイドもち』とよばれる広い土地ができ、マンションなどがたてられました。②は日本標準時子午線、④は阪神・淡路大震災から明石市とわかります。

- 1 (1) ア, イ(順不同)  
 (2) ウ, オ(順不同)  
 (3) (例)人口がふえ、家や店の多いところが広がったから。  
 2 (1) ①ア  
 ②イ  
 (2) ③あ  
 ④え  
 ⑤い  
 ⑥お  
 ⑦う  
 3 ①ウ ②イ  
 ③カ ④オ  
 ⑤ア ⑥ク  
 ⑦キ ⑧エ

- 1 (1) 地図1を見ます。㉠・㉡・㉢の記号は見あたりません。  
 (2) 地図2にあって地図1にはないものをさがします。ア・イ・エはどちらの地図にもあります。  
 (3) 地図3と地図4を見くらべると、田や畑がへって、家や店が多いところが市全体に広がっていることがわかります。またグラフからは人口が大きくふえていることがわかります。地図1と地図3、地図2と地図4を見くらべると、家や店が多いところに公共しせつがつくられていることがわかります。これらのことから、公共しせつがふえたのは、人口がふえ、家や店の多いところが広がったからだとなります。  
 2 (2) 料理に使う道具は、古いじゅんに、かまど→㉠のガスコンロ→㉡のガステーブル→㉢のIH電気台とならびます。せんたくに使う道具は、せんたく板→㉣のローラーのついたせんたくき→㉤のかんそうきつきせんたくきとならびます。  
 3 ㉠~㉣を、交通(㉠, ㉡), 土地の使われ方(㉠, ㉡, ㉢), 人口(㉡, ㉣, ㉤)に分けてから、あてはめていきます。



**おうちのかなへ**

この单元では、時代の配列などの年表の見方とつくり方を学びます。また、時代とともに生活の道具がしだいに便利なものになり、さまざまな出来事もあって、くらしが変化してきていることを学びます。



# 夏のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) 北  
 (2) ①北東 ②南東 ③南西  
 ④北西  
 (3) 絵地図  
 (4) ①畑 ②図書館 ③かじゅ園  
 ④けいさつしょ

- 2** (1) アちがう ①学校 ㊦西  
 ⑤きより ㊧駅  
 (2) 公共しせつ

- 3** (1) ㊦  
 (2) ①  
 (3) ア森  
 ①交通きかん  
 ㊦船  
 ⑤海の近く  
 ㊦ちがう  
 (4) (れい) 駅が近くにあって交通  
 がべんりだから。

- 4** の A (1) アあたためる  
 ①冬  
 (2) (れい) あまおうにきずが  
 つくのをふせぐた  
 め。

- 4** の B (1) いんげん豆, こむぎこ  
 (順不同)  
 (2) (れい) よごれが目立つよ  
 うにするため。

- 1** (1) とくにことわりがないかぎり, 上が北をしめします。  
 (2) 八方位では, 「北」と「南」を先にいいます。「東  
 北」「西南」とならないように注意しましょう。

- (4) ①植物のふたばを表しています。  
 ③かじゅ園は, りんごやなしなどのくだものの実を  
 横から見たところを表しています。

- 2** (1) ㊦北が上の地図は, 西は左に, 東は右になるので,  
 「わたしたちの学校」の西がわには寺(卍)が多く集まっ  
 ていることがわかります。神社(卍)の地図記号とまち  
 がえないよう気をつけましょう。  
 ⑤★のものさしから, おおよそのきよりがわかります。

- 3** (1) アは森林, ①は家や店の多いところです。  
 (2) 川は, 高いところ(山)からひくいところ(海)に向  
 かって流れます。  
 (3) ①交通きかんは市の北東に集まっており, 家や店も  
 このあたりに多く集まっています。  
 ㊦港や空港, そう庫のある海岸線はまっすぐになって  
 いることが地図からわかります。  
 ㊦市の様子はどこも同じではなく, その場所にあわせ  
 た土地の使われ方をしています。

- 4** の A (1) いちごはもともと春に実をつけますが, ビニール  
 ハウスであたたかいかんきょうをつくってせい  
 長を早め, 冬にしゅうかくできるようにしています。  
 (2) あまおうのうれぐあいをかくにんしながら,  
 きずがつかないよう, ひとつひとつ手作業でて  
 いねいにしゅうかくやパックづめをしています。  
 「あまおうにきずがつかないようにするため」と  
 いうないようが書けていればよいです。

- 4** の B (1) 図を見ると, 生クリームとバターは日本のほ  
 かの地いきから, いんげん豆とこむぎこは外国  
 から集めていることがわかります。  
 (2) よごれがあっても目立つよう, 白い作業着を  
 着ています。工場の中に入る前には, きかいで  
 服についた小さなほこりをはらい, 安全におか  
 しをつくるようにしています。「よごれが目立つ  
 ように(入らないように)するため」というない  
 ようが書けていればよいです。



**おうちのかたへ** 四方位, 八方位を最初に定着させると, 3年生だけでなく高学年での社会科もスムーズに  
 学習を進められます。毎日の生活でも, 「家から見て学校は北西にある」「リビングは寝室の南にある」などと方位を  
 意識することで身近になります。



# 冬のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ①×  
②○  
③×  
④○  
(2) ①イ ②ア

- 2** (1) ①品しつ  
②産地  
③外国  
(2) アリサイクル  
イまた使えるようにする  
ウレジぶくろ  
エ地いきこうけん

- 3** (1) 119 (番)  
(2) 通信指令室  
(3) ア消防しょ  
イガス会社  
(4) ウ  
(5) (れい)交通じゅうたいが<sup>はっせい</sup>発生<sup>せいり</sup>しないよう、交通整理をする。

- 4** (1) ①×  
②○  
③×  
(2) ア

- 5** (れい)消火活動／  
消防しせつの点検

- 1** (1) ①商店がいに行く人は7人います。  
③コンビニエンスストアは4けんあり、それぞれ1～2人りようしています。  
(2) ①スーパーマーケットは、車で行ってたくさんの品物を一度に買えるように、広いちゅう車場がある店が多いです。

- 2** (1) ②品物の産地は、ねふだやパッケージ、だんボールなどに書かれていることが多いです。  
③日本で手に入りにくい品物や、日本で買うよりも安く品しつがよい品物は、外国からも運んでいます。  
(2) アコンシェルジュは、お客さんのそ<sup>たい</sup>うだんやしつもんなどに対おうする係のことです。  
イリサイクルコーナーで集められた牛にゅうパックやトレーなどは、ふたたび使えるようにするための工場に運ばれます。  
ウお客さんには、できるだけ自分のバッグを持ってきてもらうようによびかけをしています。  
エ買い物がしやすいようにひつような人に車いすのかし出しをするなど、商品を売るだけでなく、いろいろなくふうをしています。

- 3** (2) 119番の電話は、まず通信指令室につながります。そのあと通信指令室から、現場に近い消防しょや病院など、ひつようなところにれんらくをしています。  
(3) イガス会社は、火事が広がらないように現場の近くのガスをとめたりしています。  
(4) アはガス会社、イは救急車が行います。  
(5) けいさつかんは、現場近くの道がじゅうたいしないよう、車と人の整理をします。

- 4** (1) ①一番多いのは消火せんで、まちじゅうにおかれています。防火水そうは、この図では3か所におかれており、消火せんのほうが多いことがわかります。  
(2) 火事の際には、消火せんから消防自動車に水をひきます。

- 5** 消防団は、火事の際に消防しょの人たちと消火<sup>きゅうじよ</sup>や救助の活動をしています。また、日ごろから消防しせつの点検を行い、いざという時に正しく使えるように取り組んでいます。「消火活動」と「点検」の2つのないようが書けていればよいです。

**おうちのかたへ** スーパーマーケットではリサイクルのほかにも、リデュース (レジぶくろのごみを減らすなど)、リユース (リターナブルびんの回収など) に取り組んでいる店もあります。3R (リデュース・リユース・リサイクル) は、4年生で学習します。



# 春のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ①イ ②ア ③ウ  
 (2) 110 (番)  
 (3) ①
- 2** ①交番  
 ②交通整理  
 ③けいさつ  
 ④通信指令室
- 3** (1) アひなん ①パトロール  
 ②交通ルール  
 (2) (れい)けいさつと地いきの人が協力してまちの安全を守っている。
- 4** (1) ①× ②○ ③○ ④×  
 ⑤× ⑥○ ⑦×  
 (2) 工場  
 (3) 鉄道
- 5** (1) ②→①→ア  
 (2) (れい)時間がへった。
- 6** (1) ①  
 (2) ふえた  
 (3) (れい)まわりの町や村と明石市がひとつになったから。

- 1** (1) これらのほかにも、けいさつは、落とし物の相談そうだんを受けつけたり、交通安全のよびかけなどもしています。  
 (2) 火事が起きた時の119番の電話とまちがえやすいので注意ちゅういしましょう。
- 2** ①交番のけいさつかんも事故現場にかけつけます。②事故のしよりで道がじゅうたいしたり、新たに事故が起きたりしないように、交通整理をします。④110番の電話は、まずけいさつ本部の通信指令室につながり、通信指令室から近くのけいさつしょやパトロールカーなどのひつようなところにれんらくします。
- 3** (1) ア地いきの店や家などでは、助けたすをもとめられる目じるしとして「こども110番」のステッカーがりようされています。  
 (2) けいさつだけでなく、学校や町内会、会社などが協力して知らせ合うことでまちの安全が守られています。
- 4** (1) ①70年前の地図で土地の高いところや少し高いところにあった畑の地図記号(V)は、今の地図ではへっています。④新しくできた鉄道があります。⑤70年前も今も、鉄道は土地のひくいところに集まっています。⑦鉄道がふえたことで新しい駅ができ、また、前からある鉄道にも新たに駅がつくられています。  
 (2) 明石市の西がわ(地図の左がわ)に、海をうめ立てて、土地になっているところがあります。うめ立ててできたところの地図記号から、工場(☆)に使われているとわかります。
- 5** (1) 100年前ごろには、火を自分でおこし、かまどにまきをくべて料理をしていました。70年前ごろには、マッチで火をつけて使うガスコンロにかわり、40年前ごろには、マッチを使わず火をつけられるガステーブルになりました。
- 6** (1) ぼうグラフを見ると1935(昭和10)年のぼうは5万人の少し下のところまであるため、①のおよそ5万人が正しいことがわかります。  
 (2) 2015年の人口はグラフからおよそ30万人なので、1935年から人口はふえています。  
 (3) 地図を見ると、1942年と1951年にほかの町や村と明石市がいっしょになったことがわかります。そのため、明石市が広くなり、人口もふえたと考えられます。



**おうちのかたへ** 昭和時代には交通網の発達により、産業は大きく発達し変化をとげました。高度経済成長や人口については5年生でも学習します。3年生では、およそ100年間で、人口や鉄道の变化、自治体の合併があったことを学習します。

# 学力しんだんテスト

てびき

- 1** (1) 図書館  
(2) ①○ ②× ③×
- 2**のA (1) ①  
(2) (れい) 作物にきずがつかないようにするため。
- 2**のB (1) ㊦  
(2) (れい) せい品にごみが入らないようにするため。
- 3** ①㊦ ②ア ③イ
- 4** (1) 通信指令室  
(2) (れい) けが人を病院に運ぶ。
- 5** (1) 消防団  
(2) ア
- 6** (1) (れい) かまやなべをあたためる／料理をする(道具)  
(2) ア② ④① ㊦③
- 7** (1) ア, ①(順不同)  
(2) (れい) (市の人口は) ふえている。
- 8** (1) ①ア ②とめやすい  
(2) ③  
(3) (れい) 広いちゅう車場があって、車で行くことができるから。

- 1** (1) 図書館の地図記号は、開いた本がもとになっています。  
(2) ②くだもの畑は、ゆうびん局から見て北や北東にあります。  
③家や店の多い所は、田から見て西がわや南がわに広がっています。
- 2**のA (1) ア①たねまきや、畑の世話など、休むことなく一年中作業を行っています。㊦7月から時期をずらして、分けてたねをまいています。
- 2**のB (1) 人ときかいの両方がはたらいて、いちどにたくさんさんのせい品をつくります。  
(2) 工場内にほこりを持ちこまないように、服をせいけつにしてから作業しています。
- 3** ①はレジではたらく人、②は事お所ではたらく人、③は肉や魚を加工する人です。
- 4** (1) 110番の電話は、けいさつ本部の通信指令室につながります。  
(2) ①は救急車であることから、はたらきを考えましょう。
- 5** (1) 消防団の人は、ふだんは別の仕事をしています。  
(2) けむりや熱を感知して、音などで知らせることで、火事の広がりを防ぎます。
- 6** (1) かまやなべをのせて、まきをもやした火でにたきする道具です。  
(2) 年代の古いじゅん番に、①→②→③となります。人の手で行うことがへり、その分、他のことに時間を使えるようになってきました。
- 7** (1) ㊦市の東がわにあった森林は、今は家や店になり、団地もできています。㊦60年前とくらべて線路がふえ、新しい駅や道路もつくられています。  
(2) 家や店がふえたのは、その土地でくらす人の数がふえたためだと考えることができます。
- 8** (1) ①②船を港にとめやすいよう、海岸線をまっすぐにしています。  
(2) 地図を見ると、①は土地の高い所、②は少し高い所、③はひくい所だとわかります。また、②は道路ではなく、鉄道の近くです。  
(3) 広いちゅう車場があるため、駅から遠くても、車で店に行って買い物をすることができます。「しょうがい者の人のためのちゅう車場があるから」なども正解です。理由を答える問題なので、かならず文の終わりが「～から」「～ため」などとなるようにしましょう。

この「答えとてびき」はとりはずしてお使いください。



教科書ぴったりトレーニング

# 答えとてびき

東京書籍版 社会3年

● **もんだい** 問題がとけたら…

- ① まずは答え合わせをしましょう。
- ② 次にてびきをよんでかくにんしましょう。

● **おうちのたへ** は学習のねらいやポイントを掲載しています。お子様への説明にご活用ください。

## 1 わたしのまち みんなのまち

ひたたり 1 **じゃんび** 2 ページ

- ① かんさつ ② 絵地図 ③ 目じるし ④ 文しょう ⑤ 神社 ⑥ さくら ⑦ 東西 ⑧ 北 ⑨ 上

ひたたり 2 **練習** 3 ページ

てびき

- ① (1) ①北 ②東  
③南 ④西  
(2) ①㊦ ②㊧  
③㊨ ④㊩  
⑤㊪

- ① (1) 方位じしんは色がついている方が北をさします。  
(2) ①は自転車が通るための道、②は地下鉄の駅とゆうびん局、③は長いかいだんと神社、④は学校のすぐそばと公園、⑤は地下鉄の駅と商店がいをヒントにして、絵地図をよく見ましょう。

ひたたり 1 **じゃんび** 4 ページ

- ① ①方位 ②地図記号 ③きより ④寺 ⑤学校 ⑥神社 ⑦ゆうびん局 ⑧消防しょ
- ② ⑨公共しせつ ⑩りよう

ひたたり 2 **練習** 5 ページ

てびき

- ① (1) 北  
(2) ①交番 ②病院  
③橋  
(3) ①㊦ ②㊩  
③㊨ ④㊪  
(4) きより

- ① (1) 地図はふつう北を上になっています。また、方位の記号にも注意しましょう。矢じるしの向く方が北です。  
(2) ①けいさつかんが持っているけいぼうを2本組み合わせた形です。③橋を上から見た形をもとにしています。  
(3) ①地下鉄の駅の近く、②住たく地、③神社の地図記号、④病院の地図記号をヒントにしましょう。

ひたたり 3 **たしかめのテスト** 6~7 ページ

てびき

- ① (1) 方位じしん  
(2) ①西 ②北 ③南  
④南 ⑤北  
(3) ①○ ②○  
③× ④○

- ① (1) 学校のまわりの様子<sup>ようす</sup>をかんさつするとき、方位を正しく知っておくひつようがあります。方位じしんは、方位を正しく知るための道具です。  
(2) ①~⑤の場所は、絵地図ではマンションより上(北)にあるのか、下(南)にあるのか、右の方(東)か、左の方(西)かを見て方位を決めます。  
(3) ③東ではなく西に進むと地下鉄唐人町駅があります。

- 2 ① 文  
② ㊦  
③ Y  
④ ㊦  
⑤ ㊦  
⑥ X

- (2) ① ゆうびん局  
② 病院  
③ 学校  
(3) 500m

- 2 (1) ① 「文」の文字の形がもとになっています。② 昔ゆうびんをあつかっていた「ていしんしょう」の「て」をかたかなにして、丸でかこんで記号にしています。③ 昔使われていた「さすまた」という消防の道具の形です。④ 神社に立っているとりいの形です。⑤ 寺で見かける卍(まんじ)というしるしがもとになっています。  
(3) 地図の右下にかかっているものさし(しゅくしゃく)の長さを見くらべて考えましょう。この地図のものさしは、ひとめもりが100mを表していて、病院から神社までは5めもりです。



**おうちのかたへ** 東西南北の方位については、東と西がおぼえにくいので注意してください。また、地図を見る際、「東西南北」を「上下左右」で言わないようご注意ください(「学校は駅の上にあるね」→「学校は駅の北にあるね」)。(上の「てびき」ではわかりやすくするために「上下左右」で説明しています。)

ひたひた 1 **じゃんび** 8 ページ

- 1 ① 西 ② 数字 ③ 八方位 ④ 学習問題  
2 ⑤ 高く ⑥ 海 ⑦ 多い ⑧ 北

ひたひた 2 **練習** 9 ページ

てびき

- 1 (1) ① 北東 ② 南東  
③ 南西 ④ 北西  
(2) ① 学習問題 ② 見学  
③ しつもん ④ しりょう  
⑤ ノート  
2 ① 北  
② 南  
③ 北  
④ 北

- 1 (1) 北、南、東、西の4つの方位を四方位といいます。北と東の間を北東、北と西の間を北西、南と東の間を南東、南と西の間を南西といい、四方位と合わせた8つの方位を八方位といいます。  
2 地図は北を上にして作られています。① 地図の上の青い色は島があるので海とわかります。海があるのは地図の上の方なので、北がわになります。② 地図の色分けから、市の南がわに行くほど土地が高くなっていることがわかります。③ 「家や店の多いところ」の色分けは市の北がわに広がっています。

ひたひた 1 **じゃんび** 10 ページ

- 1 ① 店 ② 森林 ③ 公園 ④ 空港 ⑤ 田  
2 ⑥ 外国 ⑦ 高速道路 ⑧ 新かん線

ひたひた 2 **練習** 11 ページ

てびき

- 1 (1) ① ㊵  
② ㊶  
③ ㊷  
④ ㊸  
(2) ① 〇  
② 〇  
③ X

- 1 (1) ① ㊵は色分けを見ると「田や畑が多いところ」で、川が流れています。② 海に面している㊶, ㊶, ㊵のうち、海岸線がまっすぐなのは㊶です。色分けを見ると「港や空港、そう庫」になっています。③ 「森林、森」の色分けが広がるのは㊷です。④ 海に面している㊶, ㊶, ㊵のうち、㊶はほとんどが「公園」の色分けになっています。  
(2) ③ 博多駅からぼくじょうのあるところまでは地下鉄を表す線はかかれています。

- 1 (1) ①北東 ②南東  
③南西 ④北西  
(2) 北西
- 2 ①土地  
②交通  
③公共しせつ  
④インタビュー  
⑤カード
- 3 (1) ①○ ②○  
③× ④×  
⑤○ ⑥×  
⑦○ ⑧×  
(2) 公園  
(3) (例) 交通がべんりで、たくさんの人が集まってくるから。

- 1 (1) 方位を表す記号では、矢じるしの向いている方が北になります。①は北と東の間、②は東と南の間、③は南と西の間、④は西と北の間です。
- 2 (1) ①「使われ方」にかかわるものには「公共しせつ」と「土地」の2つがありますが、「高さや広がり」にもかかわるのは「土地」です。④インタビューとは、調べたり記事を書いたりするために、人に会って話を聞くことです。
- 3 (1) ②土地の高さの地図と土地の使われ方の地図の両方を見て考えます。③家や店が多いのは土地がひくいところです。④新かん線は北東から南へたてにぬけていきます。⑥空港がある場所は家や店が多いところの近くで、まわりに田や畑はありません。  
(2) 土地の使われ方の地図を見ると、★のまわりは公園の色分けになっています。  
(3) 駅のまわりは交通がべんりだということから考えましょう。交通がべんりだと、人が集まりやすいです。



ぶらちのかたへ

この單元では、対象となる地域が学校のまわりから市へと広がります。地図の読み取りも、方位と地図記号だけでなく、凡例を見ながら土地の高低や使われ方、交通機関や公共施設の分布など、いくつかの要素を関連させて読み取ることを学習します。

- 1 ①けいさつしょ ②市役所 ③はくぶつ館 ④図書館 ⑤消防しょ ⑥市民  
2 ⑦博多区 ⑧中央区

- 1 (1) ア・ウ(順不同)  
(2) 学校・ゆうびん局・病院  
(順不同)
- 2 (1) 承天寺  
(2) 寺

- 1 (1) 公共しせつが多いのは、地下鉄やほかの鉄道、道路に近いところです。土地の使われ方がわかる地図で見ると、「家や店が多いところ」、「店がとくに多く、高いたて物が目立つところ」の色分けになっています。
- 2 (2) 神社の地図記号は2つ、寺の地図記号は4つあるので、寺のほうが多いです。

- 1 ①学習 ②公共しせつ ③自然 ④交通きかん ⑤たて物  
2 ⑥白地図  
3 ⑦図書館 ⑧工場 ⑨田 ⑩畑

- 1 ①住たく  
②緑  
③田畑
- 2 ①—ウ  
②—ア  
③—イ

- 1 ①「じまん1」, 「じまん5」のせつめいから, 田畑や緑が多いところではなく, 人が多く住む「住たくの多いところ」とわかります。②「じまん3」のせつめいから, 「緑の多いところ」とわかります。③「じまん2」のせつめいから, 「田畑が多いところ」とわかります。
- 2 ①「乗り物で」「市外に住む友だち」とあるので, ウの「にぎやかな様子」「地下鉄」があてはまります。②外国人をあんないするので, アがあてはまります。

- 1 (1) ①○ ②○  
③× ④×  
⑤血 ⑥皿
- (2) (例) 地下鉄や道路の近くで交通がべんりなところ。
- (3) ウ
- 2 (1) ①○ ②×  
③× ④○  
⑤○ ⑥×
- (2) ア  
(3) ア
- 3 ①ア ②ウ  
③エ ④イ

- 1 (1) ①・②二重丸が市役所, 一重丸が区役所です。⑤たて物の形がもとになっています。⑥本を開いた形です。
- (2) 地図を見ると, 公共しせつの地図記号は地下鉄の線や道路の線の近くに集まっていることがわかります。
- 2 (1) ②櫛田神社があるのは博多駅の西がわです。東がわには古くからのこるたて物はありません。③赤れんが文化館は, 博多区と中央区のさかいになっている川の西がわにあります。④・⑤区のさかいを表している線に注意しましょう。
- (3) 博多駅から住吉神社までは, この地図のものさしの長さとはほぼ同じです。
- 3 ①は西がわで田畑が多いアとなります。③は緑が多いのでエとなります。④は海の近くのイとなります。



おうちのカタヘ

みんなが利用する場所なのに, なぜデパートや映画館, スーパーマーケットやコンビニは公共施設ではないのかということが, なかなか理解できないと思われます。会社や個人が経営していること, 税金が使われていないことが公共施設との違いとなります。

## 2 はたらく人とわたしたちのくらし

- 1 ①仕事 ②農家 ③工場 ④お店
- 2 ⑤いちご ⑥あまなつ ⑦様子 ⑧道具 ⑨くふう

- 1 (1) ①○ ②×  
③○ ④×
- (2) トマト
- 2 ①イ ②ア  
③ア ④イ

- 1 (1) ②だいこんがつくられているのは西がわです。④志賀島ではいちごやあまなつがつくられています。
- (2) 2ばん目に長いぼうはトマトです。
- 2 ①, ④理由やくふうについては, 聞いて調べるとよいです。②, ③様子や使っている道具は, 見て調べることができます。

- 1 ①なえ ②花 ③しゅうかく ④かんさつ ⑤しつもん ⑥メモ ⑦お礼  
 2 ⑧地面 ⑨れいぞうこ

- 1 (1) ①—ウ  
 ②—イ  
 ③—ア  
 (2) ウ  
 (3) ア  
 2 ①○ ②×  
 ③× ④○  
 ⑤×

- 1 (2) 図を見ると、「次の年にうえるなえを育てる」の線は11月から始まって、次の年の7月まで続いているため、期間は11月から次の年の7月までの9か月です。  
 2 ②見ただけではわからないことは、しつもんして、教えてもらいましょう。③見たり聞いたりするだけでなく、じっさいにふれてたしかめることも大切です。農家の人に聞いて、ふれてもよければ、自分の手でふれてみましょう。⑤見学が終わったらいろいろ教えてくれた農家の人に、お礼を言いましょう。

- 1 ①たな ②ビニールハウス ③葉かぎ ④みつばち ⑤パック ⑥中央卸売市場 ⑦文 ⑧題名

- 1 ①—イ  
 ②—エ  
 ③—ウ  
 ④—ア  
 2 ①○ ②× ③×  
 ④○ ⑤○  
 3 ①→エ→ア→ウ

- 1 ③みつばちはビニールハウスの中をとび回り、花のみつや花ふんを集めます。そして花ふんがめしべにつき、いちごの実ができます。④いちごはももとは、あたたかい春に実をつけますが、あたたかいビニールハウスの中で育て、冬でも実をしゅうかくできるようにしています。  
 2 ② 毎朝早くにしゅうかくします。  
 ③ いちごは、いたみやすいので、手作業でひとつひとつついでにパックにつめます。

- 1 (1) ア, エ (順不同)  
 (2) 生産額の多いもの—いちご  
 生産額—(およそ)5(億円)  
 (3) (およそ)5(倍)  
 2 ①オ  
 ②イ  
 ③ウ  
 ④ア  
 ⑤エ  
 ⑥カ  
 3 ア

- 1 (1) このグラフは福岡市で生産されている主なやさいやくだものの生産額をあらわしています。ア, エグラフからはいろいろな作物の生産額やそのちがいがわかります。また、グラフの下がわには、「いちご」「トマト」など、やさいやくだものの種類も書かれています。  
 (3) 「いちご」の目もりはおよそ5億円、「ほうれんそう」の目もりはおよそ1億円なので、生産額はおよそ5倍です。  
 2 見学に行くときは、何を調べるのかみんなて話し合っで見学カードにまとめます。様子を見るだけでなく、しつもんなどもしてみましょ。終わったら、見学してわかったことをせんでんシールなどにまとめてみましょ。  
 3 ビニールハウスを使うと春にしかしゅうかくできなかつたいちごを、冬でもしゅうかくできるようになります。

- 4 (1) ㊸  
 (2) ㊹  
 (3) (例) みつばちがとび回ると、花に花ふんがついて、実がなるから。  
 (4) ㊹  
 (5) 春  
 (6) 冬
- 5 (1) ア (2) ㊹

- 4 (3) 「みつばちが花ふんをつけるので実がなる」ということが書かれていればよいです。  
 (4) 電しょうせつびで、電気の明かりで夜も明るくしているため、いちごは夜を昼間とかんちがいします。電しょうとだんぼうで、あたたかく昼間の長い春が来たといちごにかんちがいさせ、冬でも実をつけさせます。
- 5 (2) 市の中央卸売市場に集められ、そこでねだんがつけられて、スーパーマーケットなどに運ばれます。



この单元では、棒グラフの読み取りを学びます。ここでは野菜や果物の生産額の読み取りと、それぞれの生産額の順位の比較ができるようになることが目標です。算数の「ぼうグラフの読み取り方」「数の位と表し方」と関連しています。また、地図では農作物の分布の見方も学びます。

ひたたり 1 **じゃんび** 28ページ **せんたく**

- 1 ①東区 ②博多港 ③早良区 ④中央区 ⑤食べ物 ⑥きかい  
 2 ⑦じゅんじょ ⑧服そう ⑨数 ⑩くふう

ひたたり 2 **練習** 29ページ **せんたく**

てびき

- 1 (1) ①× ②○  
 ③× ④○  
 (2) 食べ物や飲み物 (をつくる工場)  
 (3) (およそ) 10
- 2 ①ア ②イ  
 ③ア ④イ
- 1 (1) ①, ②地図の大きな円は10を、小さな円は1を表しています。この円を数えると、東区は48あり、ほかの区とくらべても工場の数がいちばん多いのは東区です。  
 ④地図の「工場が集まっているところ」の色を見ると、博多港のあるところだとわかります。  
 (2) ぼうの長さをくらべます。いちばん長いのは「食べ物や飲み物をつくる工場」です。  
 (3) ぼうの長さと同目の数字を見くらべます。0と20のまんなかぐらいまでぼうがのびているので、およそ10となります。

ひたたり 1 **じゃんび** 30ページ **せんたく**

- 1 ①生地 ②あん ③きかい ④目 ⑤手作業 ⑥たんとう ⑦ライン  
 2 ⑧材料 ⑨国内 ⑩外国

ひたたり 2 **練習** 31ページ **せんたく**

てびき

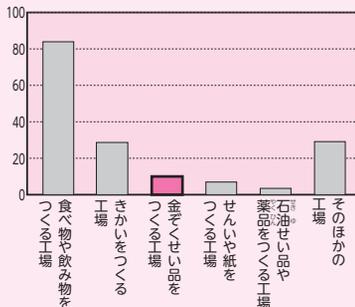
- 1 (1) (㊸⇒㊹⇒ア⇒㊺⇒イ⇒カ)  
 (2) きかいでおこなう作業  
 ア, ㊸ (順不同)  
 人がおこなう作業  
 ㊹, ㊺ (順不同)
- 2 ①○ ②×  
 ③× ④×
- 1 (1) ㊸おかしの生地と、その生地でつつむあんをつくり、  
 ㊹あんを生地でつつんでアオープンでやき上げ、㊺やき上がりをかくにんしてイふくろにつめ、㊻それをはこにつめてでき上がりです。
- 2 ②もともとは、洋がしの原料でわがしをつくることを考えて、このおかしが生まれました。③工場の人のお話に「バターや生クリームは国内のものを使います」とあります。  
 ④工場の人のお話に「いんげん豆やこむぎこなど、外国から取りよせているものもあります」とあります。

- 1 ①温度 ②大きさ ③そうこ ④白い ⑤風 ⑥手あらい  
 2 ⑦福岡 ⑧たくはいびん ⑨文 ⑩題名

- 1 ①イ  
 ②イ  
 ③ア  
 ④イ  
 ⑤ア  
 2 (1) 福岡市  
 (2) 31  
 (3) ウ  
 (4) イ  
 3 ①→ア→ウ

- 1 ①, ②, ④よごれていたらすぐわかる白い作業服を着ます。また、ていねいに手をあらったり、細かなほこりをはらったりとえいせい面にくふうをしています。③, ⑤温度のかんりやできたおかしを一週間ねかせることはおかしをおいしくするためのくふうです。  
 2 (1), (2) 福岡市には大きな円が3つと小さな円が1つあるので店の数は31で、いちばん多い地いきとなります。  
 (3) おかしはお店までトラックで、インターネットなどで注文した人のところへは、たくはいびんで送られます。  
 (4) ウできたおかしはそうこで一週間ねかせるため、できたてをお店にはこぶことはありません。

- 1 (1) 東区  
 (2) 城南区  
 (3) 37  
 (4) イ  
 (5) 食べ物や飲み物(をつくる工場)  
 (6)



[2016年 福岡市資料]

- 2 ①, ②, ③(順不同)  
 3 (1) ア・エ→オ→イ→ウ(⇒カ)  
 (ア・エは順不同, 完答)  
 (2) 原料  
 (3) (例) よごれを目立たせ, すぐわかるようにするため。  
 4 ①× ②○ ③○  
 ④× ⑤○

- 1 (1) 東区には大きな円が4つと小さな円が8つで48の工場があり、いちばん工場が多い区になります。  
 (2) いちばん工場が少ない区は、小さい円が1つだけの城南区です。  
 (3) 大きな円が3つと小さな円が7つあるので37です。  
 (4) 「工場が集まっているところ」の色がついている場所を見ると、海ぞいの港のあるところになっています。  
 (6) 目もりは20ずつ入っているので0と20のめもりのまん中に合わせたぼうをかきます。  
 2 ア, ウ, カ一日にどれぐらいのおかしを、毎日いつごろからつくっているのか、できたおかしをいつお店にはこぶのかということは、見ただけではわかりません。  
 3 (3) 「よごれが目立つ」ということが書かれていればよいです。白い色はよごれが目立つので、よごれているとすぐわかります。  
 4 ①福岡市には大きな円が3つと小さな円が1つあるので、店の数は31です。④地図の絵から、ほかの市からも車や電車であつてくる人がいることがわかります。

おうちのかたへ

この単元では、棒グラフの読み取りを学びます。ここでは工場数の読み取りと、工場の種類ごとの順位の比較ができるようになることが目標です。算数の「ぼうグラフの読み取り方」と関連しています。また、地図では工場やお店の分布の見方も学びます。

ひたたり ① **じゃんび** 36ページ

- 1 ①白地図 ②スーパーマーケット ③コンビニエンスストア ④商店がい  
 2 ⑤もくてき ⑥まとめ方 ⑦お礼 ⑧ちゅう車場

ひたたり ② **練習** 37ページ

てびき

- 1 (1) ①○ ②×  
       ③× ④×  
 (2) 7(人)  
 2 ①—ウ  
       ②—ア  
       ③—エ  
       ④—イ

1 (1)①, ②●がいちばん多いのは, 学校の南がわのはなれたところにある大きなスーパーマーケットで, ●の数は10です。③地図の中にかかっているスーパーマーケットの数は3, コンビニエンスストアの数も3で, 同じです。④コンビニエンスストアに行く人の合計数は2 + 1 + 1で4人, スーパーマーケットに行く人の合計数は10 + 3 + 4 + 5で22人です。

ひたたり ① **じゃんび** 38ページ

- 1 ①品物 ②お客さん ③インタビュー  
 2 ④あいさつ ⑤お礼 ⑥カート ⑦おそうざい ⑧コンピューター

ひたたり ② **練習** 39ページ

てびき

- 1 ①ウ  
       ②ア  
       ③イ  
       ④エ  
 2 ①エ  
       ②ウ  
       ③ア

1 ① スーパーマーケットはいろいろな品物を売っています。買いたい品物を見つけやすく, また, よい品物が売られていれば, お客さんもたくさん買いに来ます。  
 ④ インタビューとは, 調べたり記事にし(きじ)たりするために, 人に会って話を聞くことです。  
 2 ①①は, カートにのせて品物を売り場に出しているところです。品物を出すだけでなく, 売れのこって時間がたった品物をはずすこともしています。②②は魚売り場のうしろにある部屋で魚をさば(や)っている様子です。それぞれの売り場のうしろにある部屋では, その売り場にならべる品物のじゃんびをしています。

ひたたり ① **じゃんび** 40ページ

- 1 ①インタビュー ②かんばん ③コンシェルジュ  
 2 ④注文 ⑤ちらし ⑥きれい ⑦品しつ ⑧りょう ⑨品切れ ⑩おそうざい

ひたたり ② **練習** 41ページ

てびき

- 1 ①× ②○  
       ③× ④×  
       ⑤× ⑥○

1 ①・④売り場の上にある大きなかんばんには, お客さんがさがしやすいように, その売り場にならべられている品物のしゅるいが書かれています。③大きいやさいなどは, 半分や4分の1の大きさに切って売られているものもあります。⑤おそうざい売り場があります。

- 2 ①—ウ  
②—ア  
③—エ  
④—イ

- 2 ③売り場にある品物の多くはパックづめになっています。入っている品物のりょうは、お客さんのひつように合わせて、多いものから少ないものまであります。④お客さんが多くなる時間なども考えながら、何回にも分けておそうざいをつくっています。

ひたひた 3 たしかめのテスト

42~43ページ

てびき

- 1 (1) ①イ  
②ウ  
③ア  
(2) 12 (人)  
(3) スーパーマーケット
- 2 ①× ②× ③○  
④○ ⑤○ ⑥○
- 3 ①エ ②イ ③ア ④ウ
- 4 (1) ア  
(2) ウ  
(3) (例) 上のほうの大きなかんばんに、品物がある場所が書いてあるから。  
(4) 品しつ  
(5) イ

- 1 (1) ①コンビニエンスストアは、朝早くから夜おそくまで開いているので、いつでも買い物ができます。②商店がいは、肉屋、魚屋、八百屋など、生活にひつような品物を売っている店が集まっているので、いくつかの店を回って買い物をするのにべんりです。  
(2) 図の●は集計した人数を表しています。駅近くの商店がいのらんには●が12あります。  
(3) 「はなれたところにある大きなスーパーマーケット」と「近くのスーパーマーケット①、②、③」の●の合計は38で、「コンビニエンスストア①、②、③」の●の合計は6なのでスーパーマーケットのほうが多いです。
- 2 ①売り場がこんでいて、いそがしいときは、じゃまになるので、すいているときに見学に行きます。②品物がかってにさわってはいけません。
- 4 (3) 絵のかんばんには品物のしゅるいが大きく書かれています。「かんばんで品物の売り場がわかる」ということが書けていればよいです。



**おうちのかたへ** スーパーマーケットに買い物に行くときに、お子さんといっしょに行って、スーパーマーケットの様子を実際に見せると理解がしやすくなります。買う品物を探したり、見比べたりする経験を通して、この単元の学習が深まります。

ひたひた 1 じゅんぴ

44ページ

- 1 ①場所 ②シール ③名前 ④外国  
2 ⑤ちゅう車場 ⑥ちらし ⑦安心 ⑧せんでん ⑨ホームページ ⑩しゅん

ひたひた 2 練習

45ページ

てびき

- 1 (1) ①北海道  
②群馬県  
③アメリカ  
④北海道  
⑤ニュージーランド  
(2) ア
- 2 ウ  
3 イ

- 1 (1) ② <sup>ながの</sup>長野県から運ばれているやさいの絵はレタスです。キャベツとにているので注意しましょう。  
(2) だんボールのはこには、やさいの名前とその産地<sup>さんち</sup>が書かれています。
- 2 ウ 店員と話をしながら買い物ができたりするのは、顔見知りの店員のいる近所のお店などです。
- 3 ① きせつ感のある売り場は品物のならべかたのくふうであって、せんでんではありません。

ひたたり 1 **じゃんび** 46ページ

- 1 ①地いきこうけん ②リサイクル ③バッグ ④車いす ⑤ちゅう車場 ⑥事実  
 2 ⑦せんもん ⑧商店がい ⑨理由

ひたたり 2 **練習** 47ページ

てびき

- 1 (1) ①×  
 ②○  
 ③×  
 ④×  
 ⑤○  
 (2) ア

- 2 ①イ ②エ  
 ③ア ④ウ

- 1 (1) ①レジぶくろは、品物を入れて持ち帰ったあとは、ごみになります。ごみを少なくするためには、できるだけレジぶくろを使わないようにするのが大切です。②、③リサイクルコーナーでは、牛にゆうパックやペットボトル、食品トレーを回収して、リサイクルに協力しています。④足の不自由な人でも買い物ができるように、車いすをかし出しています。  
 2 ③ たとえば、カメラや電気製品などをせんもんに売っている大きな店では品物についてくわしい店員さんがいて、いろいろせつめいをしてくれます。

ひたたり 3 **たしかめのテスト** 48~49ページ

てびき

- 1 (1) ①ウ ②イ  
 ③ア ④エ  
 (2) ①北海道 ②群馬県  
 2 ①—イ  
 ②—エ  
 ③—ア  
 ④—ウ  
 3 (1) ①ア ②エ  
 (2) リサイクル  
 (3) (例) レジぶくろのごみをへらすもくてき。  
 4 ①オ ②ウ  
 ③ア ④エ  
 ⑤イ

- 1 (1) ③シールには、品物のねだん、りょう(重さや数)、賞味期限などといっしょに、産地も書かれています。  
 2 ア車で来る人のためのくふうです。イはなれた場所からでも見えるように、つけた大きなかんばんに品物のしゅるいが書いてあります。ウつくっている人がわかれば、安心して買うことができます。エちらしを見て買いにくるお客さんもたくさんいます。  
 3 (1) ②車いすのマークがあるので、車いすをりようするような、しょうがいのある人せんようのちゅう車場です。  
 (3) 食品トレーをリサイクルしたり自分のバッグを使って買い物をすれば、ごみをへらすことになります。  
 4 ①はおそい時間でも、電気代のしはらいや買い物ができるオです。④はいろいろなお店が集まって便利なエです。⑤は地下鉄の駅を出てすぐのところなどにあり、外の天気を気にせずに買い物ができるイです。



**おうちのかたへ** リサイクルボックスは、コンビニエンスストアの前にもあります。また、レジぶくろが有料になっていること、自分の買い物バッグを持って買い物に来ているお客さんが多いことなども、お子さんといっしょに買い物に行くときに教えてあげてください。

3 **まも** 暮らしを守る

ひたたり 1 **じゃんび** 50ページ

- 1 ①事故 ②消防士 ③けいさつかん  
 2 ④90 ⑤へって ⑥こんろ ⑦119 ⑧地いき ⑨図書館

1 ア, ウ, オ (順不同)

2 (1) ①× ②×  
③○ ④×  
⑤×

(2) ①—ウ ②—ア  
③—イ

1 ウのガス会社はガスばくはつをふせぐために火事の現場近くのガスをとめます。オの水道局は消火せんから消火用の水がいきおいよく出るように、近くの水道の水圧を高めま。

2 (1) ①グラフのぼうの長さの目もりはおよそ90件です。②ぼうの長さはだんだん短くなっているため、火事はへってきています。④火事の原因でいちばん多いのはこんろです。⑤ぼうの長さの目もりは10件以下です。

1 ①点検 ②マスク ③救助 ④当番

2 ⑤119番 ⑥救急 ⑦消防しょ ⑧病院 ⑨けいさつしょ

1 (1) ①エ ②ア  
③ウ ④イ

(2) ①○ ②○ ③×

2 ①エ ②ウ  
③ア ④オ  
⑤イ

1 (2) ①朝から次の日の朝まで、24時間はたらいっているため夜中でもすぐかけつけられます。③消防士は、半日(朝から夕方、夕方から朝)ずつ交代ではたらくのではなく、24時間ずつ交代ではたらいっています。

2 ④電力会社やガス会社、水道局は、火事現場近くの電気やガスをとめたり、水道の水圧を高めたりして協力します。⑤けが人を病院に運ぶのは救急車です。

1 (1) (およそ) 90 (件)  
(2) イ  
(3) こんろ  
(4) 78 (件)

2 (1) ①× ②×  
③○ ④×  
⑤○  
(2) ウ

3 (1) ①○ ②× ③○ ④×  
(2) (例) いつ火事が起きてもすぐ出動できるようにしているから。

4 (1) ウ  
(2) ウ  
(3) ①イ ②ア ③ウ

1 (2) ぼうの長さはだんだん短くなっているため、火事の数がかだんだんへっていることがわかります。

(3) ぼうがいちばん長いのは右はしの「そのほか」ですが、これは少ない原因をいくつも集めていっしょにしたものなので、はずします。左から多いじゅんになっているため、左はしの「こんろ」がいちばん多い原因です。

2 (1) ①訓練は当番の日にはしていません。②防火服はじょうぶにつくられているため、マスクとあわせて10kgの重さがあります。防火服、マスク、ボンベなどのそうびをすると、とても重くなりますが、消防士の安全をだいにしています。④通信指令室から火事の場所や大きさについてのれんらくがあるため、出動する消防自動車の数やしゅるいはそのときどきでかわります。

3 (1) ②、③当番の日には24時間はたらくため、当番の日が2日つづくことはありません。当番の次の日は非番になります。非番の日には家に帰りますが、れんらくがあれば消防しょにかけつけます。④火事はいつ起きるかかわからないため、消防士は、交代ではたらいっています。



**おうちのかたへ** この単元では、火事の件数の変化を例にして、棒グラフに示された数の変化の読み取りを学びます。また、消防士の勤務時間から時間の表し方についても学びます。算数の「時間の表し方」や「大きな数の表し方」と関連しています。

**ひたたり 1 じゃんび** 56ページ

- 1** ①消火せん ②防火水そう ③火災ほうち ④火災けいほうき ⑤ひなん場所  
**2** ⑥地いき ⑦市民防災訓練 ⑧仕事

**ひたたり 2 練習** 57ページ

**てびき**

- 1** ①—①  
 ②—ア  
 ③—ウ

- 2** ①× ②×  
 ③○ ④○  
 ⑤×

- 1** ①消火せんのふたです。ふたを開けて、水道管につながるせんにホースをつなぎ、消火用の水をとります。②防火水そうがある場所をしめしています。地下にある水そうに消火用の水がためられています。③火災けいほうきです。火事の熱やけむりを感知して音で知らせます。  
**2** ①消防団は地いきの人たちがつくる組織で、消防士は参加していません。②台風や地震などの大きなさいがいのときも、地いきのために活動します。⑤日を決めて集まって、訓練をしています。

**ひたたり 3 たしかめのテスト** 58～59ページ

**てびき**

- 1** (1) ア  
 (2) (例) 道路にそって、たくさんあるから。  
 (3) ウ  
 (4) ウ  
**2** ①ア ②①  
 ③①  
**3** (1) ①消火の訓練  
 ②防火のよびかけ  
 ③器具の点検  
 (2) (例) ふだんはべつの仕事をしていて、さいがいが起きたときは、消防しょの人たちと協力して活動する地いきの人。  
 (3) ①, ⑤(順不同)  
**4** ①→ア→⑤(完答)

- 1** (1), (2) 地下に水道管が通っている道路にそってたくさん消火せんをもうけて、どこで火事が起きても、すぐ近くから消火用の水がとれるようにしています。地図の中で道路にそってたくさんあるものをさがすと、アであることがわかります。  
 (3), (4) ひなん場所は、地いきの人がよく知っていて、たくさんの人がひなんできる広い場所になります。地図で、そのような場所をさがすと、「文」の地図記号から、学校にかかっている⑤がひなん場所であると考えられます。  
**2** ①は防火水そうです。②はひなん場所、③は火災けいほうきで、火事を知らせたり、安全な場所にひなんしたりするためのしせつです。  
**3** (1) ①は消火ホースを使った「消火の訓練」の様子です。②は「春の火災予防運動」と書かれたおうだんまくから、話の中にある「防火のよびかけ」の活動とわかります。③は「器具の点検」をしているところです。  
 (3) ア消防団の団員は、火事だけでなく、いろいろなさいがいの時にも活動します。④お祭りは消防団の活動ではありません。

**おうちのかたへ**

消火栓は、道路のあちこちで見かけます。お子さんといっしょに買い物や散歩に出かけたときに、どこにあるのか、いくつあるのか、ゲーム感覚で歩きながら探してみるとよいでしょう。どこで火事が起きても、近くに消火用の水があることが実感できます。

**ひたひた 1 じゃんび 60ページ**

- 1** ①タイトル ②たて ③よこ ④へって ⑤ふえて ⑥事故 ⑦事件  
**2** ⑧パトロール ⑨ルール

**ひたひた 2 練習 61ページ****てびき**

- 1** ①○ ②×  
 ③× ④○  
 ⑤○ ⑥×  
 ⑦×

- 2** ①—イ  
 ②—ウ  
 ③—ア

**1** ②2016年の事故の数は2013年よりも少ないです。③事故の数がもっとも少ないのは、2014年です。⑥事故の数は2014年に大きくへりましたが、2015年からはまたふえています。事件の数は2015年までだんだんへっており、2016年は2015年とほぼ同じ数となっています。⑦たてじくの目もりの数字を見ると、事故の数は600件よりも少なく、事件の数は1000件よりも多いので、事件の数のほうが多いことがわかります。

**ひたひた 1 じゃんび 62ページ**

- 1** ①110番 ②場所 ③通信指令室 ④交番 ⑤交通整理  
**2** ⑥町内会 ⑦ひなんじょ ⑧防犯カメラ ⑨パトロール ⑩安全マップ

**ひたひた 2 練習 63ページ****てびき**

- 1** (1) 110 (番)  
 (2) ①○ ②○  
 ③× ④×  
 ⑤× ⑥○

- 2** ①—イ  
 ②—ウ  
 ③—ア

**1** (2) ③通信指令室はけいさつ本部の中にあります。事故現場の近くのけいさつしょや交番にれんらくして出動を指令します。④消防しょへれんらくして救急車を出動してもらいます。病院へは消防しょかられんらくします。⑤ガス会社へれんらくするのは火事するときです。  
**2** ①地いきの人たちで防犯について話し合っているところです。②登下校の時間に立ち番をしているところです。③こども110番のステッカーをはっているお店です。

**ひたひた 1 じゃんび 64ページ**

- 1** ①ちゅう車 ②パトロール ③安全マップ ④ステッカー  
**2** ⑤天ぷら ⑥ライター ⑦ストーブ ⑧言葉 ⑨じゅんばん

**ひたひた 2 練習 65ページ****てびき**

- 1** ①イ  
 ②ウ  
 ③ア

**1** ①法やきまりを守らない人を取りしめるのは、①のけいさつかんの仕事です。②登下校の時間に立ち番をするのはウの地いきの人たちです。③毎日、見守り活動をしているのはアのPTAの人たちです。

- 2 ①○ ②×  
③× ④○  
⑤× ⑥○  
⑦○

- 2 ②ぬれていても、かわいてくるのできけんです。③1つのコンセントからいくつもの電気器具に大量の電気が流れるので火事になるおそれがあります。⑤もえやすいものがなくても、マッチやライターで遊ぶのはきけんです。

ひたひた 3 たしかめのテスト

66~67ページ

てびき

- 1 (1) 2013 (年)  
(2) (およそ) 400 (件)  
(3) 2013 (年), 2014 (年)  
(4) ア  
(5) (例) 事故の数はへつたりふえたりしているが、事件の数はへっている。

- 2 (1) ア (2) ウ (3) ウ

- 3 ①—ウ ②—ア  
③—イ

- 4 ①オ ②キ ③エ ④イ  
⑤ク ⑥ア ⑦ウ ⑧カ

- 1 (4) 2013年~2014年は、事件のほうが3倍以上多くなっています。また、2015年と2016年も事件のほうが2倍から3倍多くなっています。したがって、アの2倍が答えになります。

- (5) 事故の数は2013年から2014年まではへっていますが2015年からはまたふえはじめています。事件の数は、2015年と2016年のようにほぼ同じ年もありますが、2013年から2017年にかけて少しずつへっています。

- 2 (1) ①, ② 110番の電話を受けた通信指令室は、けが人がいるばあいには、消防しょにれんらくして、救急車の出動をたのみます。市役所や病院に直せつ電話をするひつようはありません。



この單元では、2つのグラフを見くらべて、目盛りの数のちがいや、数の変化のちがいの読み取りを学びます。事故と事件を例に、年度によってそれぞれの件数がどのように増減しているのか、2つのグラフの類似している点と異なっている点を読み取ります。

4 市のうつりかわり

ひたひた 1 じゃんび 68ページ

- 1 ①令和 ②元号 ③使われ方 ④田 ⑤家 ⑥工場

- 2 ⑦鉄道 ⑧山陽 ⑨高速道路

ひたひた 2 練習 69ページ

てびき

- 1 ①× ②○  
③× ④○  
⑤×

- 2 (1) 山陽新かん線  
(2) 西明石 (駅)  
(3) 国道2号  
(4) 第二神明道路

- 1 ①今の明石市の地図を見ると、田の地図記号があることがわかります。③少し高いところには昔から工場がありその数はふえていません。新しくできた西がわのうめ立て地には工場の地図記号が5つあります。⑤高いところの畑の地図記号はへっているのて、すべてのこっているとはいえませぬ。

- 2 (1) 下の地図にあって、上の地図にはない鉄道をさがします。

ひたひた 1 じゃんび 70ページ

- 1 ①田や畑 ②森林 ③工場 ④家や店 ⑤人工島 ⑥公園

- 2 ⑦2倍 ⑧お年より ⑨外国

- 1 ① ○ ② ×  
③ × ④ ○

- 2 (1) (およそ) 5 (万人)  
(2) (およそ) 6 (倍)  
(3) ㊦  
(4) ㊧

- 1 ②どちらの地図にも、大きな工場を表す色が見えます。  
③森林は、今の地図ではずっと少なくなっています。
- 2 (2) 1935年の人口はおよそ5万人、2015年の人口は30万人よりちょっと少ないので、およそ6倍です。  
(3) グラフのぼうの長さを見ると、1935(昭和10)年から1975(昭和50)年までがいちばんふえているので、㊦の昭和の間になります。  
(4) 65歳以上の人の数は、平成になってからの1995年から2015年までに、およそ4万人ふえています。

- 1 ①× ②×  
③× ④○  
⑤○ ⑥×

- 2 ①山陽電鉄、②山陽本線(順不同)  
③国道2号  
④第二神明道路  
⑤山陽新かん線  
⑥人工島  
⑦工場

- 3 (1) ①3 ②1955  
③1975 ④平成  
⑤5  
(2) (例) 明石市が4つの町や村と  
いっしょになったから。

- 1 ①地図1の土地の高さの色をさんこうにして、ほかの3つの地図のかわっているところを見ます。地図1・2で土地が高く森林が多かったところも、地図4では家や店が多くなっています。②開発中になっていたところは、地図4では大きな工場や、家や店などになっています。③地図4でも田や畑を表す色がまだのこっています。⑥第二神明道路は土地の高いところを、山陽新かん線は土地の低いところを通っています。
- 2 ①・②・③については1の地図2を、④・⑤・⑥・⑦については1の地図4を見て考えましょう。
- 3 (2) 1935年から1955年の間に4つの町や村といっしょになったことで、市の土地が広くなり、そこに住んでいた人たちの人口も明石市にくわわったので、人口が2倍以上にふえました。



おうちのかたへ

この单元では、同じ地域の時期が異なる複数の地図を見くらべて、田や畑、工場、住宅地といった土地の使われ方がどのように変わったか、鉄道や道路はどう変わったかなど、地域の様子の変化を読み取ることを学びます。また、元号を使った時期の区別も学びます。

- 1 ①市役所 ②小学校 ③税金 ④コミュニティ・センター ⑤図書館  
2 ⑥せんたく板 ⑦せんたくき ⑧かまど ⑨左 ⑩右

- 1 ①× ②○  
③○ ④×

- 2 ①—㊵  
②—ア  
③—㊧  
④—㊦

- 1 ①70年から60年ほど前の地図では、市役所は明石駅のすぐ南がわにあります。④小学校の地図記号の数は、上の地図では16ですが、下の地図では28にふえています。
- 2 ①はせんたく板、②はせんたくき、③はかまど、④はIH電気台です。

- 1 ①高速道路 ②田や畑 ③工場 ④住たく ⑤お年より ⑥電気  
 2 ⑦日本標準時子午線 ⑧阪神・淡路大震災

ひたひた 2 **練習**

てびき

- 1 (1) ①イ ②ウ ③ア  
 (2) ①ウ ②ア ③イ  
 (3) ①ア ②ウ ③イ  
 2 ①イ  
 ②ア  
 ③イ  
 ④ア

- 1 (1) 電車と大きな道路(国道2号)が<sup>はや</sup>でき、高速道路と新かん線が通り、電車のスピードが速くなって大阪駅まで40分で行けるようになりました。  
 (2) たくさんあった田や畑がへって大きな団地へとかわっていき、住たくが市全体に広がりました。  
 (3) 人口が10万人、25万人とふえ、お年よりや外国の人がふえていきました。  
 2 ①のアジア太平洋はくらん会が開かれたのは福岡市です。③のうめ立てにより、福岡市には『シーサイドもち』とよばれる広い土地ができ、マンションなどがたてられました。②は日本標準時子午線、④は阪神・淡路大震災から明石市とわかります。

ひたひた 3 **たしかめのテスト**

てびき

- 1 (1) ア, イ(順不同)  
 (2) ウ, オ(順不同)  
 (3) (例)人口がふえ、家や店の多いところが広がったから。  
 2 (1) ①ア  
 ②イ  
 (2) ③あ  
 ④え  
 ⑤い  
 ⑥お  
 ⑦う  
 3 ①ウ ②イ  
 ③カ ④オ  
 ⑤ア ⑥ク  
 ⑦キ ⑧エ

- 1 (1) 地図1を見ます。㉠・㉡・㉢の記号は見あたりません。  
 (2) 地図2にあって地図1にはないものをさがします。ア・イ・エはどちらの地図にもあります。  
 (3) 地図3と地図4を見くらべると、田や畑がへって、家や店が多いところが市全体に広がっていることがわかります。またグラフからは人口が大きくふえていることがわかります。地図1と地図3、地図2と地図4を見くらべると、家や店が多いところに公共しせつがつくられていることがわかります。これらのことから、公共しせつがふえたのは、人口がふえ、家や店の多いところが広がったからだとなります。  
 2 (2) 料理に使う道具は、古いじゅんに、かまど→㉠のガスコンロ→㉡のガステーブル→㉢のIH電気台とならびます。せんたくに使う道具は、せんたく板→㉣のローラーのついたせんたくき→㉤のかんそうきつきせんたくきとならびます。  
 3 ㉠~㉣を、交通(㉠, ㉡), 土地の使われ方(㉠, ㉡, ㉢), 人口(㉡, ㉣, ㉤)に分けてから、あてはめていきます。



**おうちのかなへ**

この单元では、時代の配列などの年表の見方とつくり方を学びます。また、時代とともに生活の道具がしだいに便利なものになり、さまざまな出来事もあって、くらしが変化してきていることを学びます。



# 夏のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) 北  
 (2) ①北東 ②南東 ③南西  
 ④北西  
 (3) 絵地図  
 (4) ①畑 ②図書館 ③かじゅ園  
 ④けいさつしょ

- 2** (1) アちがう ①学校 ㊦西  
 ⑤きより ㊧駅  
 (2) 公共しせつ

- 3** (1) ㊦  
 (2) ①  
 (3) ア森  
 ①交通きかん  
 ㊦船  
 ⑤海の近く  
 ㊦ちがう  
 (4) (れい) 駅が近くにあって交通がべんりだから。

- 4** の A (1) アあたためる  
 ①冬  
 (2) (れい) あまおうにきずがつくのをふせぐため。

- 4** の B (1) いんげん豆, こむぎこ (順不同)  
 (2) (れい) よごれが目立つようにするため。

- 1** (1) とくにことわりがないかぎり, 上が北をしめします。  
 (2) 八方位では, 「北」と「南」を先にいいます。「東北」「西南」とならないように注意しましょう。

- (4) ①植物のふたばを表しています。  
 ③かじゅ園は, りんごやなしなどのくだもの実を横から見たところを表しています。

- 2** (1) ㊦北が上の地図は, 西は左に, 東は右になるので, 「わたしたちの学校」の西がわには寺(卍)が多く集まっていることがわかります。神社(卍)の地図記号とまちがえないよう気をつけましょう。  
 ⑤★のものさしから, おおよそのきよりがわかります。

- 3** (1) アは森林, ①は家や店の多いところです。  
 (2) 川は, 高いところ(山)からひくいところ(海)に向かって流れます。  
 (3) ①交通きかんは市の北東に集まっており, 家や店もこのあたりに多く集まっています。  
 ㊦港や空港, そう庫のある海岸線はまっすぐになっていることが地図からわかります。  
 ㊦市の様子はどこも同じではなく, その場所にあわせた土地の使われ方をしています。

- 4** の A (1) いちごはもともと春に実をつけますが, ビニールハウスであたたかいかんきょうをつくってせい長を早め, 冬にしゅうかくできるようにしています。  
 (2) あまおうのうれぐあいをかくにんしながら, きずがつかないように, ひとつひとつ手作業でていねいにしゅうかくやパックづめをしています。「あまおうにきずがつかないようにするため」というないようが書けていればよいです。

- 4** の B (1) 図を見ると, 生クリームとバターは日本のほかの地いきから, いんげん豆とこむぎこは外国から集めていることがわかります。  
 (2) よごれがあっても目立つよう, 白い作業を着ています。工場の中に入る前には, きかいで服についた小さなほこりをはらい, 安全におかしをつくるようにしています。「よごれが目立つように(入らないように)するため」というないようが書けていればよいです。



**おうちのかたへ** 四方位, 八方位を最初に定着させると, 3年生だけでなく高学年での社会科もスムーズに学習を進められます。毎日の生活でも, 「家から見て学校は北西にある」「リビングは寝室の南にある」などと方位を意識することで身近になります。



# 冬のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ①×  
②○  
③×  
④○  
(2) ①イ ②ア

- 2** (1) ①品しつ  
②産地  
③外国  
(2) アリサイクル  
イまた使えるようにする  
ウレジぶくろ  
エ地いきこうけん

- 3** (1) 119 (番)  
(2) 通信指令室  
(3) ア消防しょ  
イガス会社  
(4) ウ  
(5) (れい)交通じゅうたいが<sup>はっせい</sup>発生<sup>せいり</sup>しないよう、交通整理をする。

- 4** (1) ①×  
②○  
③×  
(2) ア

- 5** (れい)消火活動／  
消防しせつの点検

- 1** (1) ①商店がいに行く人は7人います。  
③コンビニエンスストアは4けんあり、それぞれ1～2人りようしています。  
(2) ①スーパーマーケットは、車で行ってたくさんの品物を一度に買えるように、広いちゅう車場がある店が多いです。

- 2** (1) ②品物の産地は、ねふだやパッケージ、だんボールなどに書かれていることが多いです。  
③日本で手に入りにくい品物や、日本で買うよりも安くて品しつがよい品物は、外国からも運んでいます。  
(2) アコンシェルジュは、お客さんのそ<sup>たい</sup>うだんやしつもんなどに対<sup>たい</sup>おうする係のことです。  
イリサイクルコーナーで集められた牛にゅうパックやトレーなどは、ふたたび使えるようにするための工場に運ばれます。  
ウお客さんには、できるだけ自分のバッグを持ってきてもらうようによびかけをしています。  
エ買い物がしやすいようにひつような人に車いすのかし出しをするなど、商品を売るだけでなく、いろいろなくふうをしています。

- 3** (2) 119番の電話は、まず通信指令室につながります。そのあと通信指令室から、現場に近い消防しょや病院など、ひつようなところにれんらくをしています。  
(3) イガス会社は、火事が広がらないように現場の近くのガスをとめたりしています。  
(4) アはガス会社、イは救急車が行きます。  
(5) けいさつかんは、現場近くの道がじゅうたいしないうよう、車と人の整理をします。

- 4** (1) ①一番多いのは消火せんで、まちじゅうにおかれています。防火水そうは、この図では3か所におかれており、消火せんのほうが多いことがわかります。  
(2) 火事の際には、消火せんから消防自動車に水をひきます。

- 5** 消防団は、火事の際に消防しょの人たちと消火<sup>きゅうじよ</sup>や救助の活動をしています。また、日ごろから消防しせつの点検を行い、いざという時に正しく使えるように取り組んでいます。「消火活動」と「点検」の2つのないようが書けていればよいです。

**おうちのかたへ** スーパーマーケットではリサイクルのほかにも、リデュース (レジぶくろのごみを減らすなど)、リユース (リターナブルびんの回収など) に取り組んでいる店もあります。3R (リデュース・リユース・リサイクル) は、4年生で学習します。



# 春のチャレンジテスト

てびき

- 1** (1) ①イ ②ア ③ウ  
 (2) 110 (番)  
 (3) ①
- 2** ①交番  
 ②交通整理  
 ③けいさつ  
 ④通信指令室
- 3** (1) アひなん ①パトロール  
 ②交通ルール  
 (2) (れい)けいさつと地いきの人が協力してまちの安全を守っている。
- 4** (1) ①× ②○ ③○ ④×  
 ⑤× ⑥○ ⑦×  
 (2) 工場  
 (3) 鉄道
- 5** (1) ②→①→ア  
 (2) (れい)時間がへった。
- 6** (1) ①  
 (2) ふえた  
 (3) (れい)まわりの町や村と明石市がひとつになったから。

- 1** (1) これらのほかにも、けいさつは、落とし物の相談そうだんを受けつけたり、交通安全のよびかけなどもしています。  
 (2) 火事が起きた時の119番の電話とまちがえやすいので注意ちゅういしましょう。
- 2** ①交番のけいさつかんも事故現場にかけつけます。②事故のしよりで道がじゅうたいしたり、新たに事故が起きたりしないように、交通整理をします。④110番の電話は、まずけいさつ本部の通信指令室につながり、通信指令室から近くのけいさつしょやパトロールカーなどのひつようなところにれんらくします。
- 3** (1) ア地いきの店や家などでは、助けたすをもとめられる目じるしとして「こども110番」のステッカーがりようされています。  
 (2) けいさつだけでなく、学校や町内会、会社などが協力して知らせ合うことでまちの安全が守られています。
- 4** (1) ①70年前の地図で土地の高いところや少し高いところにあった畑の地図記号(V)は、今の地図ではへっています。④新しくできた鉄道があります。⑤70年前も今も、鉄道は土地のひくいところに集まっています。⑦鉄道がふえたことで新しい駅ができ、また、前からある鉄道にも新たに駅がつくられています。  
 (2) 明石市の西がわ(地図の左がわ)に、海をうめ立てて、土地になっているところがあります。うめ立ててできたところの地図記号から、工場(☆)に使われているとわかります。
- 5** (1) 100年前ごろには、火を自分でおこし、かまどにまきをくべて料理をしていました。70年前ごろには、マッチで火をつけて使うガスコンロにかわり、40年前ごろには、マッチを使わず火をつけられるガステーブルになりました。
- 6** (1) ぼうグラフを見ると1935(昭和10)年のぼうは5万人の少し下のところまであるため、①のおよそ5万人が正しいことがわかります。  
 (2) 2015年の人口はグラフからおよそ30万人なので、1935年から人口はふえています。  
 (3) 地図を見ると、1942年と1951年にほかの町や村と明石市がいっしょになったことがわかります。そのため、明石市が広くなり、人口もふえたと考えられます。



**おうちのかたへ** 昭和時代には交通網の発達により、産業は大きく発達し変化をとげました。高度経済成長や人口については5年生でも学習します。3年生では、およそ100年間で、人口や鉄道の变化、自治体の合併があったことを学習します。

# 学力しんだんテスト

てびき

- 1** (1) 図書館  
(2) ①〇 ②× ③×
- 2**のA (1) ①  
(2) (れい) 作物にきずがつかないようにするため。
- 2**のB (1) ㊦  
(2) (れい) せい品にごみが入らないようにするため。
- 3** ①㊦ ②ア ③イ
- 4** (1) 通信指令室  
(2) (れい) けが人を病院に運ぶ。
- 5** (1) 消防団  
(2) ア
- 6** (1) (れい) かまやなべをあたためる／料理をする(道具)  
(2) ア② ㊦① ㊦③
- 7** (1) ア, ㊦(順不同)  
(2) (れい) (市の人口は) ふえている。
- 8** (1) ①ア ②とめやすい  
(2) ③  
(3) (れい) 広いちゅう車場があって、車で行くことができるから。

- 1** (1) 図書館の地図記号は、開いた本がもとになっています。  
(2) ②くだもの畑は、ゆうびん局から見て北や北東にあります。  
③家や店の多い所は、田から見て西がわや南がわに広がっています。
- 2**のA (1) ア①たねまきや、畑の世話など、休むことなく一年中作業を行っています。㊦7月から時期をずらして、分けてたねをまいています。
- 2**のB (1) 人ときかいの両方がはたらいて、いちどにたくさんさんのせい品をつくります。  
(2) 工場内にほこりを持ちこまないように、服をせいけつにしてから作業しています。
- 3** ①はレジではたらく人、②は事お所ではたらく人、③は肉や魚を加工する人です。
- 4** (1) 110番の電話は、けいさつ本部の通信指令室につながります。  
(2) ①は救急車であることから、はたらきを考えましょう。
- 5** (1) 消防団の人は、ふだんは別の仕事をしています。  
(2) けむりや熱を感知して、音などで知らせることで、火事の広がりを防ぎます。
- 6** (1) かまやなべをのせて、まきをもやした火でにたきする道具です。  
(2) 年代の古いじゅん番に、①→②→③となります。人の手で行うことがへり、その分、他のことに時間を使えるようになってきました。
- 7** (1) ㊦市の東がわにあった森林は、今は家や店になり、団地もできています。㊦60年前とくらべて線路がふえ、新しい駅や道路もつくられています。  
(2) 家や店がふえたのは、その土地でくらす人の数がふえたためだと考えることができます。
- 8** (1) ①②船を港にとめやすいよう、海岸線をまっすぐにしています。  
(2) 地図を見ると、①は土地の高い所、②は少し高い所、③はひくい所だとわかります。また、②は道路ではなく、鉄道の近くです。  
(3) 広いちゅう車場があるため、駅から遠くても、車で店に行って買い物をすることができます。「しょうがい者の人のためのちゅう車場があるから」なども正解です。理由を答える問題なので、かならず文の終わりが「～から」「～ため」などとなるようにしましょう。